

令和6年度 さいたま市民意識調査

中間報告書

令和6年8月

さいたま市市長公室秘書広報部広聴課

目 次

I 調査概要

1 調査の目的	1
2 調査の項目	1
3 調査の設計	1
4 回収結果	1
5 調査実施機関	1
6 この中間報告書の見方	2

II 在住者意識調査

1 調査結果の要約	4
2 回答者の属性	5
3 調査の結果	7
(1) 地域での生活	7
(2) さいたま市のイメージ	14
(3) 市政との関わり	17
(4) 市政への満足度・重視度	21
(5) 少子化対策・子育て支援	23
(6) S D G s	24
(7) 今の地域を選んだ理由	26

III 在勤者意識調査

1 調査結果の要約	32
2 回答者の属性	33
3 調査の結果	35
(1) さいたま市のイメージ	35
(2) 市内での活動	40

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、広聴事業の一環として、施策に対する市民の意向等を把握し、今後の市政運営の参考とする目的を行った。

2 調査の項目

(1) 在住者意識調査

- ① 地域での生活
 - ④ 市政への満足度・重視度
 - ⑦ 今 の 地 域 を 選 ぶ だ 理 由
 - ② さいたま市のイメージ
 - ⑤ 少子化対策・子育て支援
- ③ 市政との関わり
 - ⑥ S D G s

(2) 在勤者意識調査

- ① さいたま市のイメージ
- ② 市内での活動

3 調査の設計

(1) 在住者意識調査

- ① 調査地域：さいたま市全域
- ② 調査対象：さいたま市在住の満18歳以上の男女
- ③ 調査対象数：5,000人
- ④ 抽出法：住民基本台帳に基づく層化多段無作為抽出
- ⑤ 調査方法：郵送配布・郵送又はWEB回収
- ⑥ 調査期間：令和6年6月3日（月）～令和6年6月17日（月）

(2) 在勤者意識調査

- ① 調査地域：さいたま市全域の事業所
- ② 調査対象：さいたま市外からさいたま市内の事業所に通勤する満18歳以上の男女
- ③ 調査対象数：2,000人
- ④ 抽出法：市内の事業所を無作為に抽出し、事業所を通じて個人への調査を依頼
- ⑤ 調査方法：事業所へ郵送配布・郵送又はWEB回収
- ⑥ 調査期間：令和6年6月3日（月）～令和6年6月17日（月）

4 回収結果

(1) 在住者意識調査 有効回収数 2,227 有効回収率 44.5%

(2) 在勤者意識調査 有効回収数 710 有効回収率 35.5%

5 調査実施機関 株式会社 物流科学研究所

6 この中間報告書の見方

- (1) 図中に示した「n」とは、各設問の回答者数を示す。
- (2) 回答比率は、nを基数とした百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。
そのため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- (3) 複数回答の質問では、百分率の合計は100.0%を超える。
- (4) 本結果は「さいたま市民意識調査」の調査結果の一部を簡潔に整理し、概要を示した。
詳細な分析や考察などは後日（令和6年12月予定）刊行する報告書に掲載する。
- (5) 作図の便宜上、一部の文字数が多い項目名や選択肢で、図中の表記においてかつての文字を割愛した場合がある。
- (6) 各調査の分析は、抽出調査で生じる数パーセントの誤差を考慮して記述した。

II 在住者意識調査

1 調査結果の要約

(1) 住みやすい人は8割半ば、住み続けたい人は9割近く

今の地域が住みやすいと思う人（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）(86.4%)は8割半ば、今の地域に住み続けたい人（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計)(87.2%)は9割近くであった。（参照：報告書7～8ページ・問2、問3）

(2) 地域の満足度は20項目中7項目で7割を超える

地域の満足度（「満足」と「やや満足」の合計）は、「自然災害による被害の少なさ」が78.3%で最も高く、「電車の便」、「ふだんの買い物の利便性」（ともに76.7%）、「治安のよさ」(76.2%)、「周りの静けさ・清潔さ」(75.0%)が続いた。（参照：報告書12ページ・問6（1））

(3) 「岩槻の人形」、「浦和のうなぎ」の知名度が8割近く

さいたま市の施設、名所、文化財、伝統産業、イベントなどの知名度は「岩槻の人形」が76.9%で最も高く、「浦和のうなぎ」(76.5%)、「さいたまマラソン」(69.6%)、「大宮盆栽村」(64.2%)が続いた。（参照：報告書16ページ・問8）

(4) 市が発信する情報の入手方法は「市報さいたま」が7割半ば

市が発信する情報の入手方法は、「市報さいたま」が74.2%で最も高く、「自治会の回覧板・掲示板」(37.7%)、「ロクマル 市議会だよりさいたま」(33.2%)が続いた。

（参照：報告書17ページ・問9）

(5) 特に知りたい情報は「予防接種や夜間当番医などの医療情報」が4割近く

さいたま市役所からの情報で、特に知りたいと思う情報では、「予防接種や夜間当番医などの医療情報」が37.2%で最も高く、「市内で開催される観光・スポーツ・文化イベントの情報」(36.0%)、「窓口での手続き方法や持ち物」(35.8%)が続いた。（参照：報告書18ページ・問10）

(6) 今後力を入れて取り組んでほしい事業は「高齢者福祉の充実」が4割半ば

事業分野別のニーズは、「高齢者福祉の充実」が44.8%で最も高く、「身近な公共交通／生活道路・自転車利用環境の整備」(43.3%)、「交通事故防止／防犯対策の推進」(38.7%)が続いた。

（参照：報告書22ページ・問14）

(7) 少子化対策・子育て支援で特に重視すべき施策は「保育所や放課後児童クラブの施設や定員数を充実させる」、「乳幼児の両親への支援・ケアを充実させる」が4割台

少子化対策・子育て支援で特に重視すべき施策は、「保育所や放課後児童クラブの施設や定員数を充実させる」が42.6%で最も高く、「乳幼児の両親への支援・ケアを充実させる」(41.7%)、「子ども医療費の無償化を充実させる」、「児童手当の拡充や給食費無償化等の経済的支援を充実させる」（ともに39.2%）が続いた。（参照：報告書23ページ・問15）

2 回答者の属性

性別、年代、居住区については、さいたま市の人口（令和6年5月1日現在の18歳以上人口）と対比を行った。

(1) 性別

属性	回答者数	比率	市全体の 人口比率
男性	948	42.6%	49.2%
女性	1,205	54.1	50.8
選べない・ 答えたくない	19	0.9	
無回答	55	2.5	
全 体	2,227	100.0	100.0

(2) 年代

属性	回答者数	比率	市全体の 人口比率
18～19歳	27	1.2%	2.2%
20代	193	8.7	13.5
30代	300	13.5	14.9
40代	390	17.5	17.0
50代	447	20.1	18.2
60代	399	17.9	12.4
70歳以上	418	18.8	21.7
無回答	53	2.4	
全 体	2,227	100.0	100.0

(3) 居住区

属性	回答者数	比率	市全体の 人口比率
西 区	152	6.8%	7.0%
北 区	243	10.9	11.2
大宮区	194	8.7	9.4
見沼区	264	11.9	12.4
中央区	173	7.8	7.7
桜 区	136	6.1	7.3
浦和区	274	12.3	12.4
南 区	342	15.4	14.4
緑 区	207	9.3	9.6
岩槻区	187	8.4	8.5
無回答	55	2.5	
全 体	2,227	100.0	100.0

(4) 主な移動手段 (複数回答)

属性	回答者数	比率
徒 歩	1,155	51.9%
自転車	927	41.6
自家用車	1,100	49.4
バイク	56	2.5
電 車	1,185	53.2
バ ス	516	23.2
タクシー	82	3.7
その他	8	0.4
無回答	52	2.3

(5) 職業

属性	回答者数	比率
自営業主・家業手伝い	113	5.1%
勤め人(正規職員・正社員)	891	40.0
勤め人(パート・アルバイトなど)	394	17.7
学 生	68	3.1
専業主婦・専業主夫	348	15.6
無職	334	15.0
その他	25	1.1
無回答	54	2.4
全 体	2,227	100.0

(5-1) 勤務先・通学先

属性	回答者数	比率
さいたま市内	627	42.8%
さいたま市以外の埼玉県内	228	15.6
東京都23区	492	33.6
その他の東京都	31	2.1
その他の道府県	59	4.0
無回答	29	2.0
有職者・学生全体	1,466	100.0

(5-2) 通勤・通学時間

属性	回答者数	比率
30分未満	525	35.8%
30分～1時間未満	411	28.0
1時間～1時間半未満	388	26.5
1時間半～2時間未満	101	6.9
2時間以上	19	1.3
無回答	22	1.5
有職者・学生全体	1,466	100.0

(6) 同居している家族構成

属性	回答者数	比率
一人暮らし	244	11.0%
夫婦だけ	591	26.5
親子（2世代）	1,180	53.0
親と子と孫（3世代）	115	5.2
その他	44	2.0
無回答	53	2.4
全 体	2,227	100.0

(7) 子どもの有無

属性	回答者数	比率
いる	1,476	66.3%
いない	698	31.3
無回答	53	2.4
全 体	2,227	100.0

(7-1) 子どもの年代（複数回答）

属性	回答者数	比率
小学校入学前（0～6歳）	229	15.5%
小学生・中学生	303	20.5
高校生・大学生・大学院生・短大生・専門学校生	264	17.9
学校教育終了	769	52.1
その他	124	8.4
無回答	12	0.8

(8) 65歳以上の家族の有無

属性	回答者数	比率
いる	1,137	51.1%
いない	1,057	47.5
無回答	33	1.5
全 体	2,227	100.0

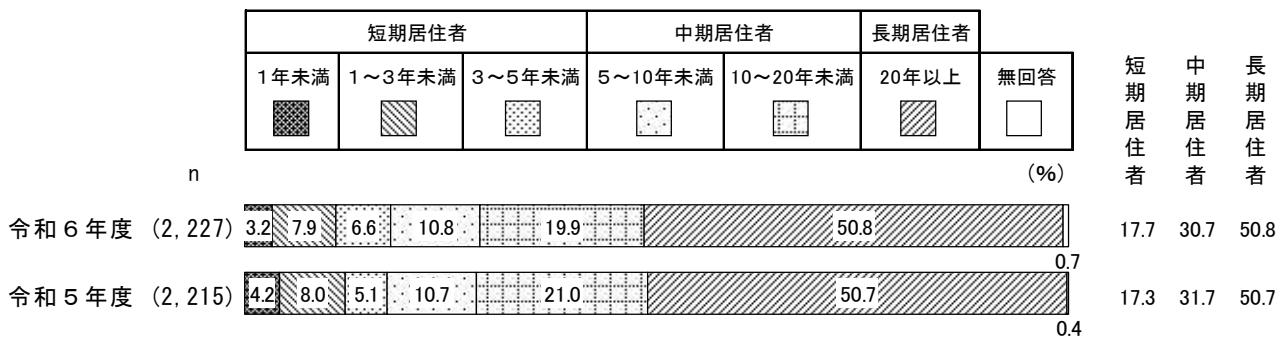
(9) 居住形態

属性	回答者数	比率
持ち家の一戸建て	1,223	54.9%
持ち家の集合住宅	460	20.7
社宅、公務員住宅など	26	1.2
民間の借家（一戸建て、集合住宅）	398	17.9
公営の借家（UR、市・県営住宅など）	54	2.4
その他	16	0.7
無回答	50	2.2
全 体	2,227	100.0

3 調査の結果

(1) 地域での生活

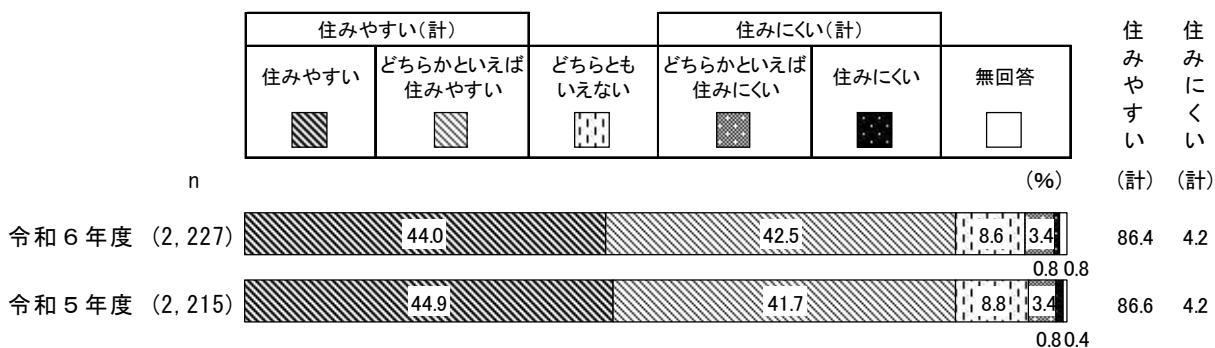
問1 あなたは、現在の「地域」にお住まいになって何年になりますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)



「1年未満」(3.2%)、「1～3年未満」(7.9%)、「3～5年未満」(6.6%)を合わせた『短期居住者』が17.7%、「5～10年未満」(10.8%)と「10～20年未満」(19.9%)を合わせた『中期居住者』が30.7%、「20年以上」の『長期居住者』が50.8%であった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

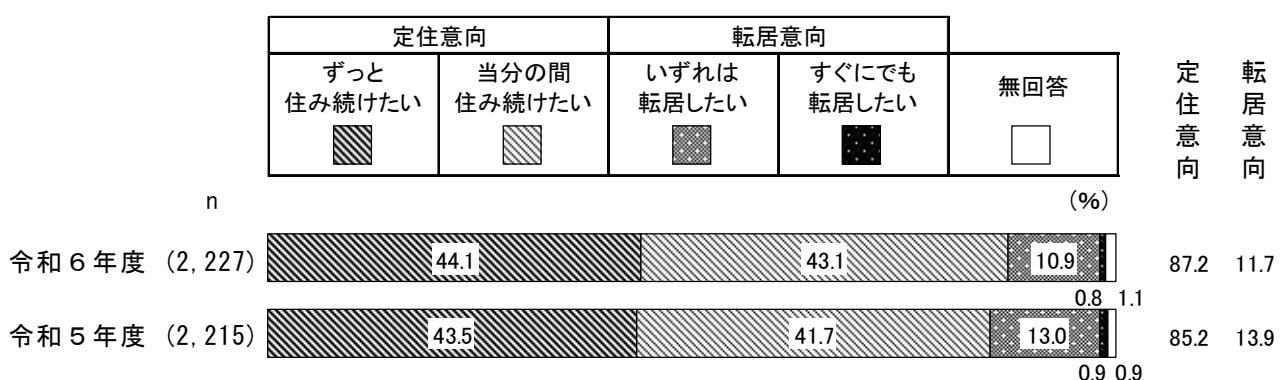
問2 あなたがお住まいの「地域」の住み心地はどうですか。(○は1つ)



「住みやすい」(44.0%)と「どちらかといえば住みやすい」(42.5%)を合わせた『住みやすい(計)』(86.4%)は、8割半ばであった。一方、「どちらかといえば住みにくい」(3.4%)と「住みにくい」(0.8%)を合わせた『住みにくい(計)』(4.2%)は、1割未満であった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問3 あなたは、現在お住まいの「地域」にこれからも住みたいと思いますか。(○は1つ)

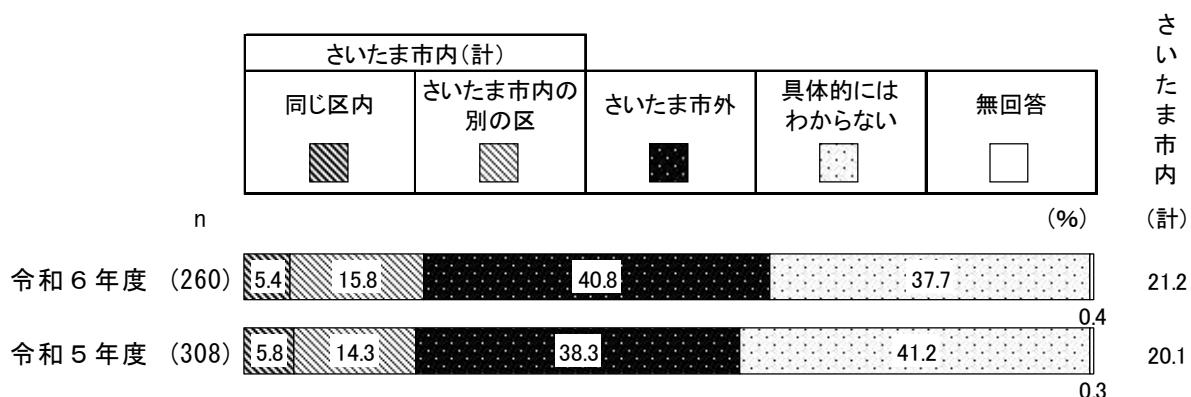


「ずっと住み続けたい」(44.1%)と「当分の間住み続けたい」(43.1%)を合わせた『定住意向』(87.2%)は、9割近くであった。一方、「いざれは転居したい」(10.9%)と「すぐにでも転居したい」(0.8%)を合わせた『転居意向』(11.7%)は、1割を超えた。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

(問3で「いざれは転居したい」「すぐにでも転居したい」と答えた方に)

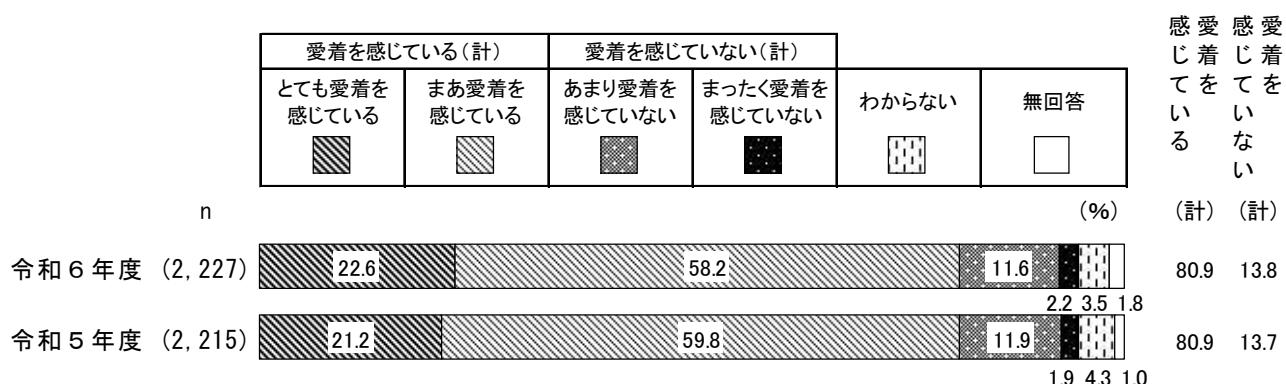
問3-1 どこに転居したいと思いますか。(○は1つ)



「いざれは転居したい」、「すぐにでも転居したい」と答えた人の、希望する転居先は、「さいたま市外」が40.8%で、「同じ区内」(5.4%)と「さいたま市内の別の区」(15.8%)を合わせた『さいたま市内(計)』(21.2%)を上回った。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問4 あなたは、現在お住まいの「地域」に愛着を感じていますか。(○は1つ)

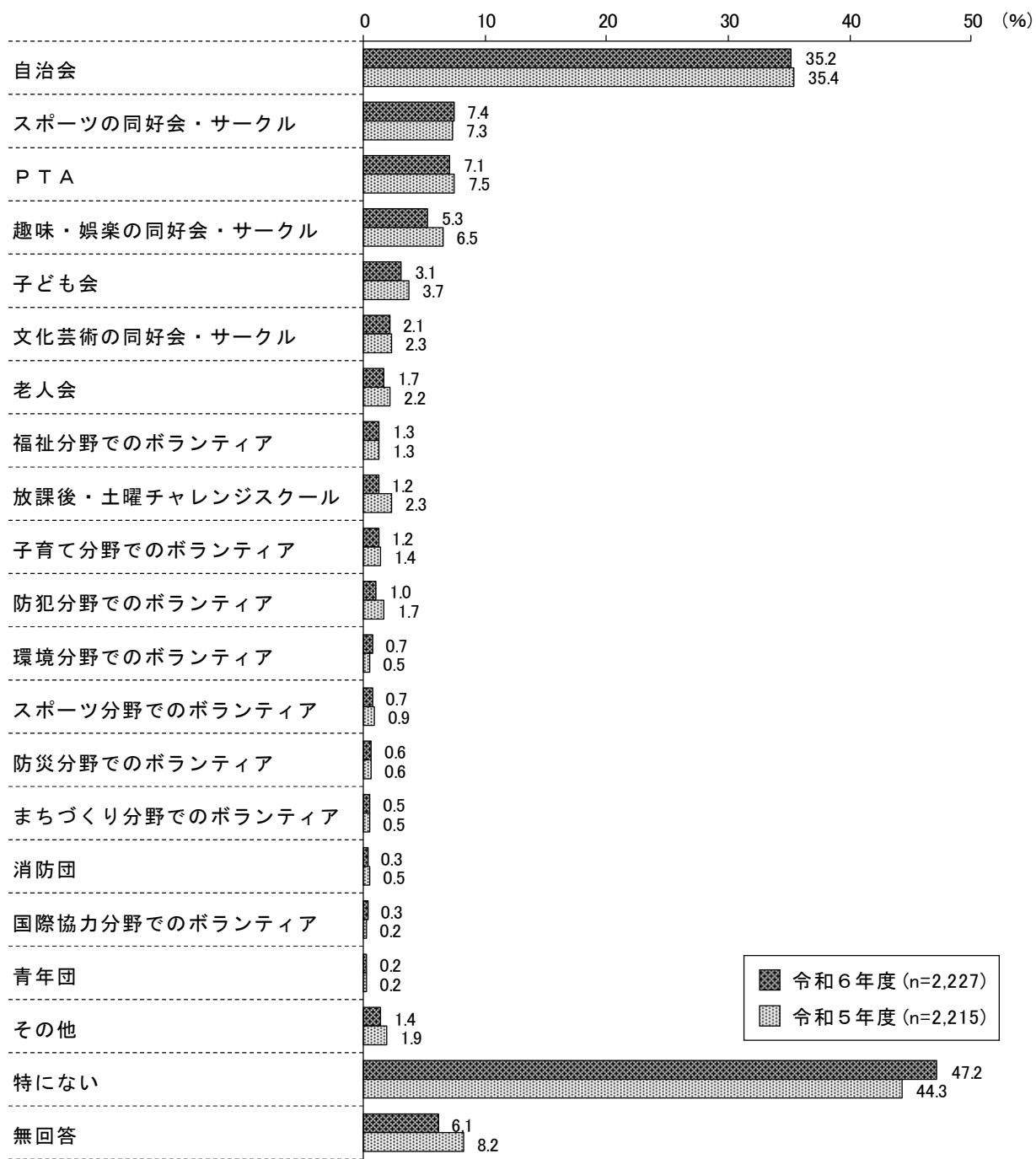


「とても愛着を感じている」(22.6%)と「まあ愛着を感じている」(58.2%)を合わせた『愛着を感じている(計)』(80.9%)は、ほぼ8割であった。一方、「あまり愛着を感じていない」(11.6%)と「まったく愛着を感じていない」(2.2%)を合わせた『愛着を感じていない(計)』(13.8%)は、1割を超えた。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問5 あなたは、どんな活動に参加していますか。

(1) 現在、参加しているすべての活動に○をつけてください。(○はいくつでも)

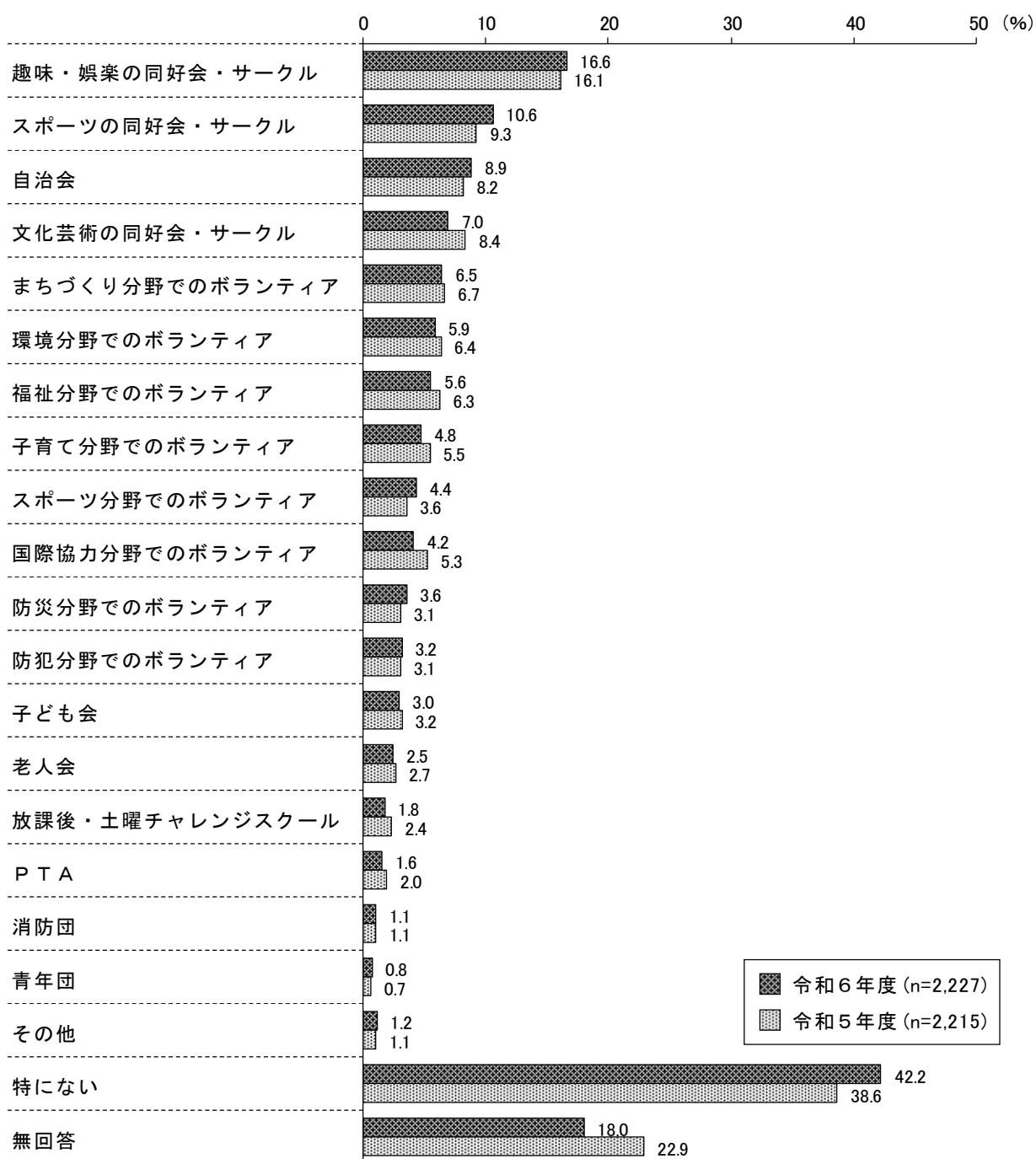


「自治会」(35.2%) が3割半ばで、それ以外の活動はいずれも1割未満であった。一方、参加している活動が「特ない」(47.2%) は5割近くであった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問5 あなたは、どんな活動に参加していますか。

(2) 今後、参加したいと思うすべての活動に○をつけてください。引き続き参加したい活動も含みます。(○はいくつでも)



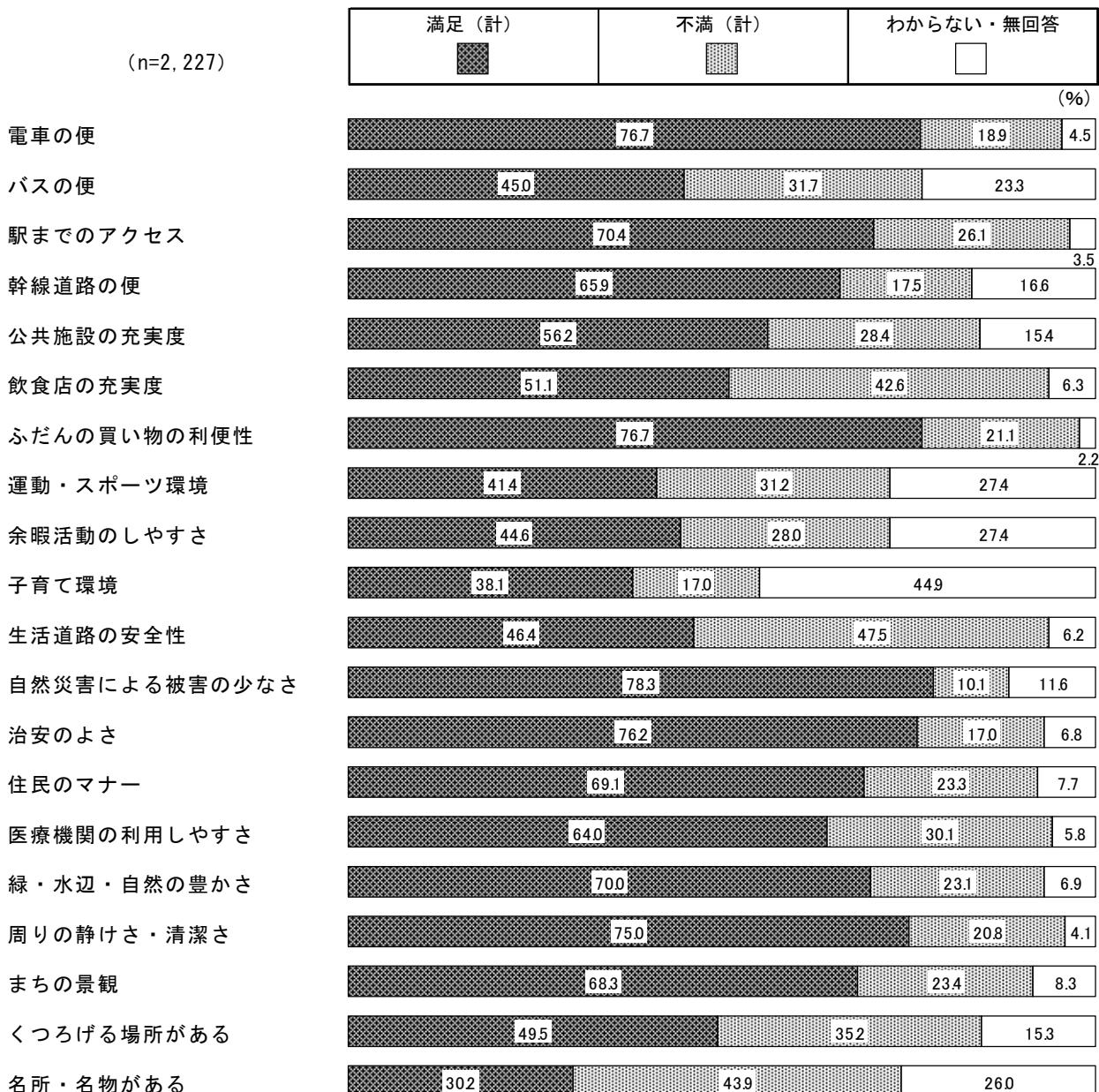
「趣味・娯楽の同好会・サークル」(16.6%) が2割近く、「スポーツの同好会・サークル」(10.6%) がほぼ1割で、それ以外の活動はいずれも1割未満であった。一方、今後、参加したいと思う活動が「特ない」(42.2%) は4割を超えた。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問6 あなたの現在お住まいの「地域」について質問します。

(1) あなたは、お住まいの「地域」について、どの程度満足していますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

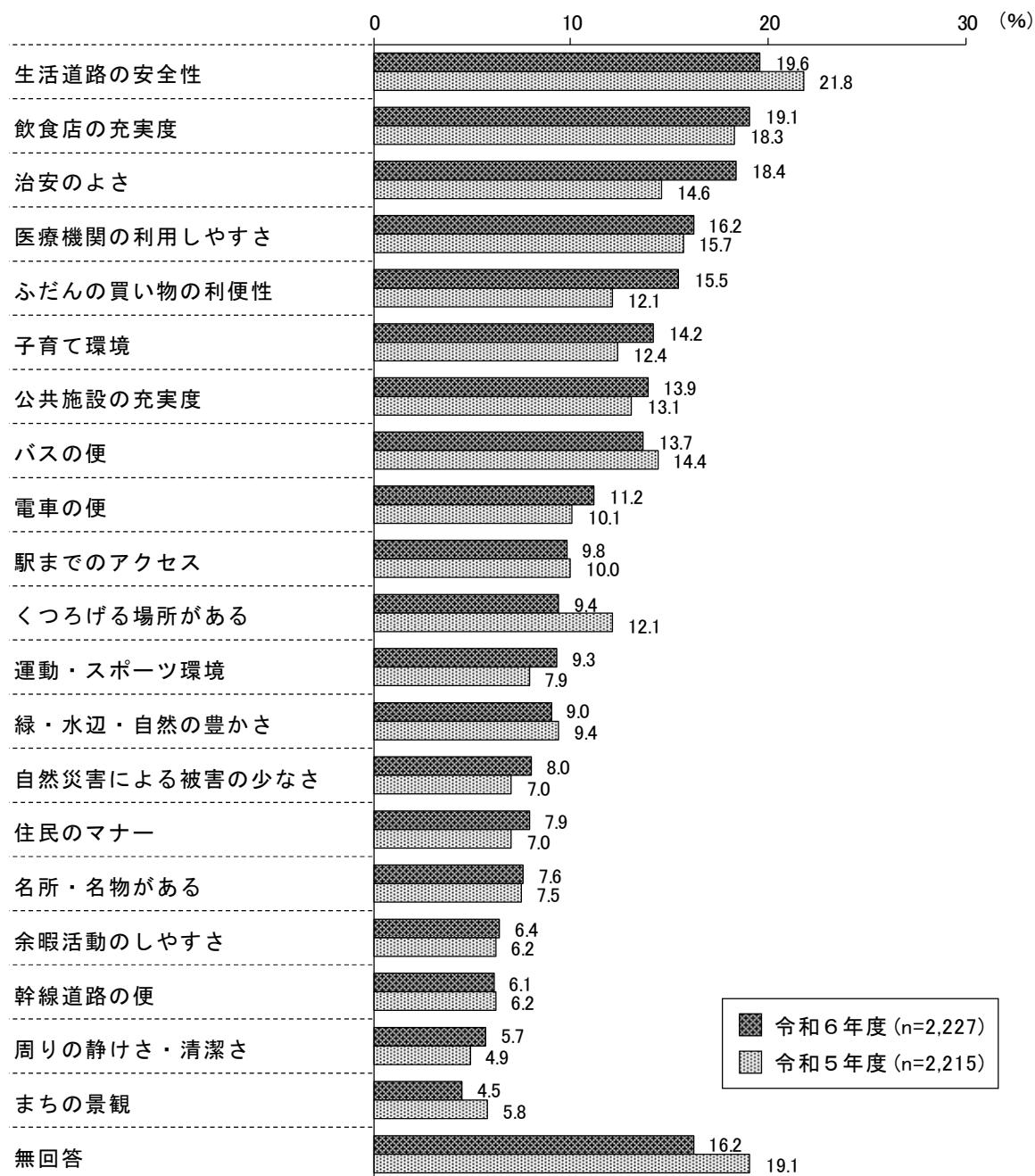


「満足」と「やや満足」を合わせた『満足(計)』は、「自然災害による被害の少なさ」(78.3%)、「電車の便」、「ふだんの買い物の利便性」(ともに76.7%)が8割近くであった。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満(計)』は、「生活道路の安全性」(47.5%)、「名所・名物がある」(43.9%)、「飲食店の充実度」(42.6%)が4割台であった。

問6 あなたの現在お住まいの「地域」について質問します。

(2) あなたは、お住まいの「地域」が、今後どのような方向へ発展してほしいと思いますか。

(○は3つまで)



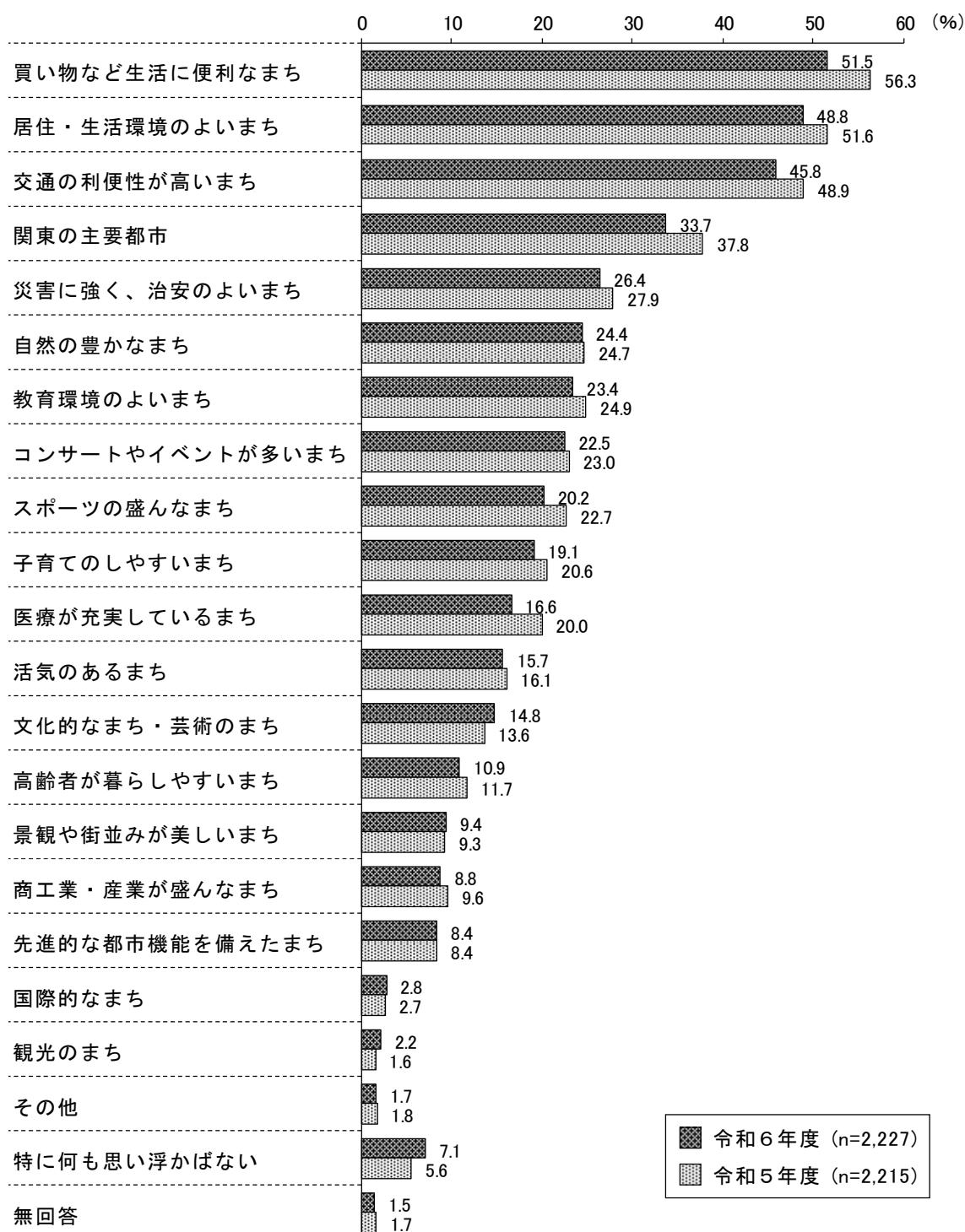
「生活道路の安全性」が 19.6%で最も高く、「飲食店の充実度」(19.1%)、「治安のよさ」(18.4%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「治安のよさ」が 3.8 ポイント、「ふだんの買い物の利便性」(15.5%) が 3.4 ポイント増加した。

(2) さいたま市のイメージ

問7 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(1) あなたは、「さいたま市」にどのようなイメージを持っていますか。(○はいくつでも)



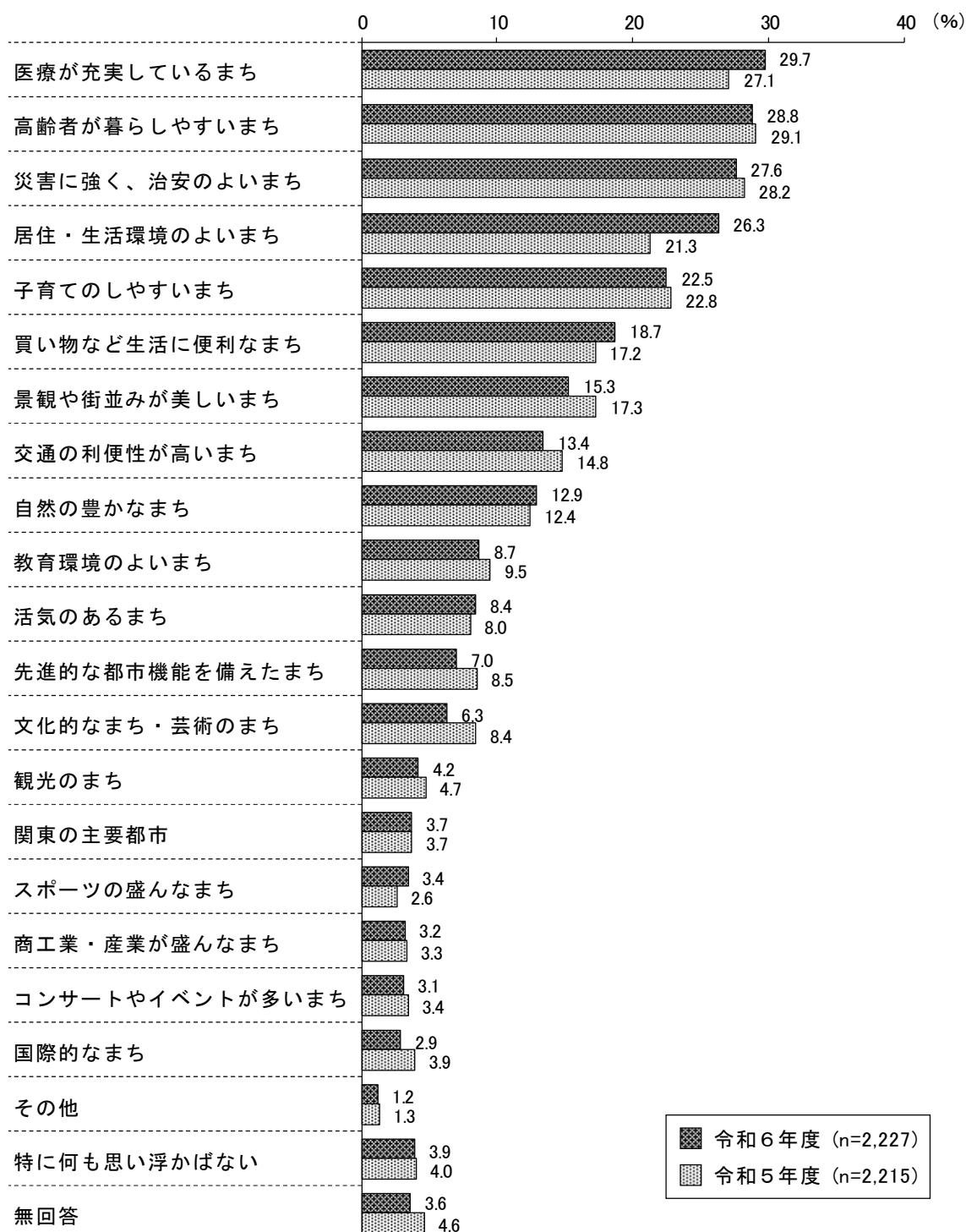
「買い物など生活に便利なまち」が51.5%で最も高く、「居住・生活環境のよいまち」(48.8%)、「交通の利便性が高いまち」(45.8%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「買い物など生活に便利なまち」が4.8ポイント、「関東の主要都市」(33.7%)が4.1ポイント減少した。

問7 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(2) あなたは、「さいたま市」が、今後どのような方向へ発展してほしいと思いますか。

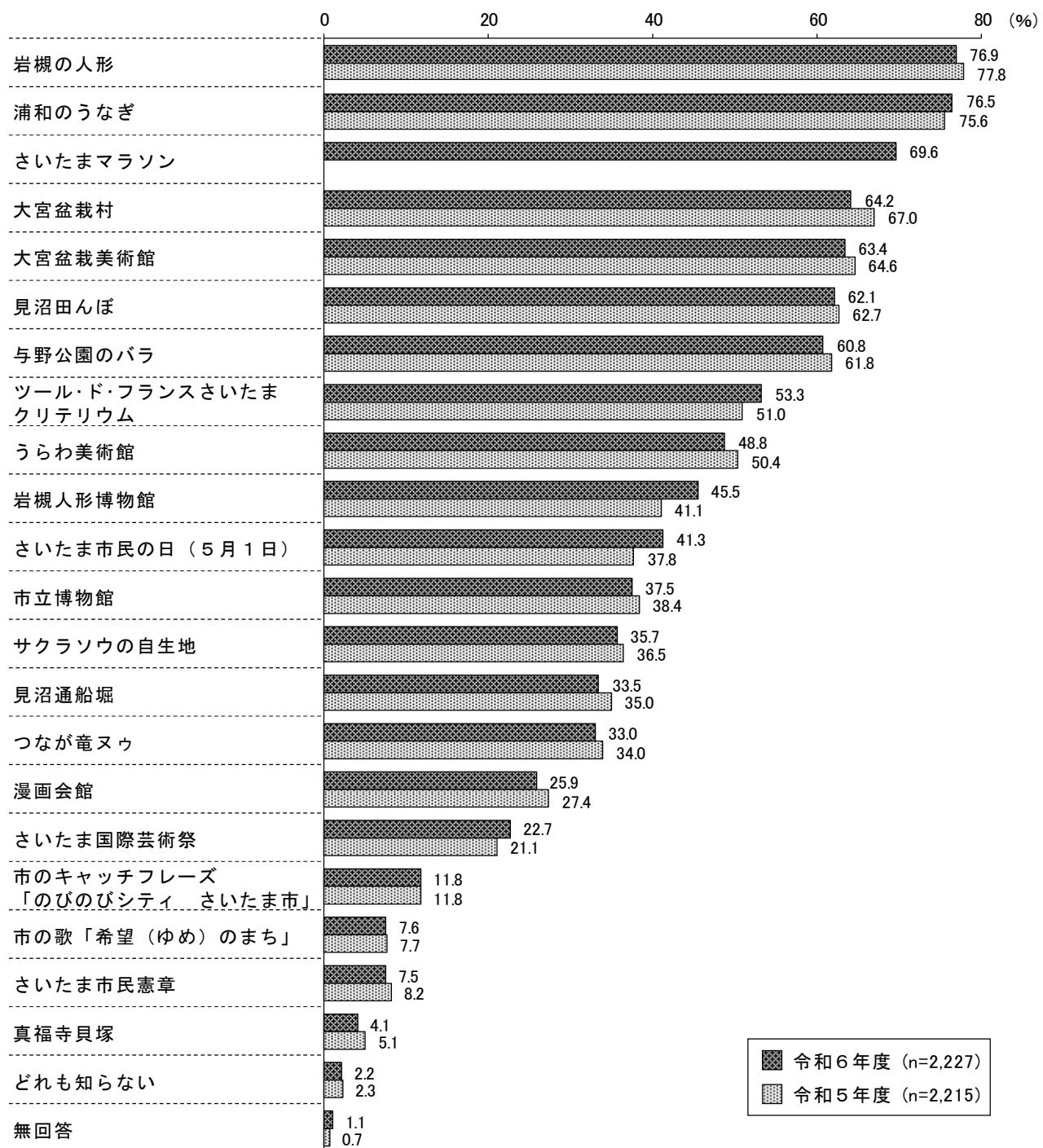
(○は3つまで)



「医療が充実しているまち」が 29.7% で最も高く、「高齢者が暮らしやすいまち」(28.8%)、「災害に強く、治安のよいまち」(27.6%) が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「居住・生活環境のよいまち」(26.3%) が 5.0 ポイント増加した。

問8 さいたま市の施設、名所、文化財、伝統産業、イベントなどについて、あなたが知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



(注記) 「さいたまマラソン」は、令和6年度調査から選択肢に加えた。

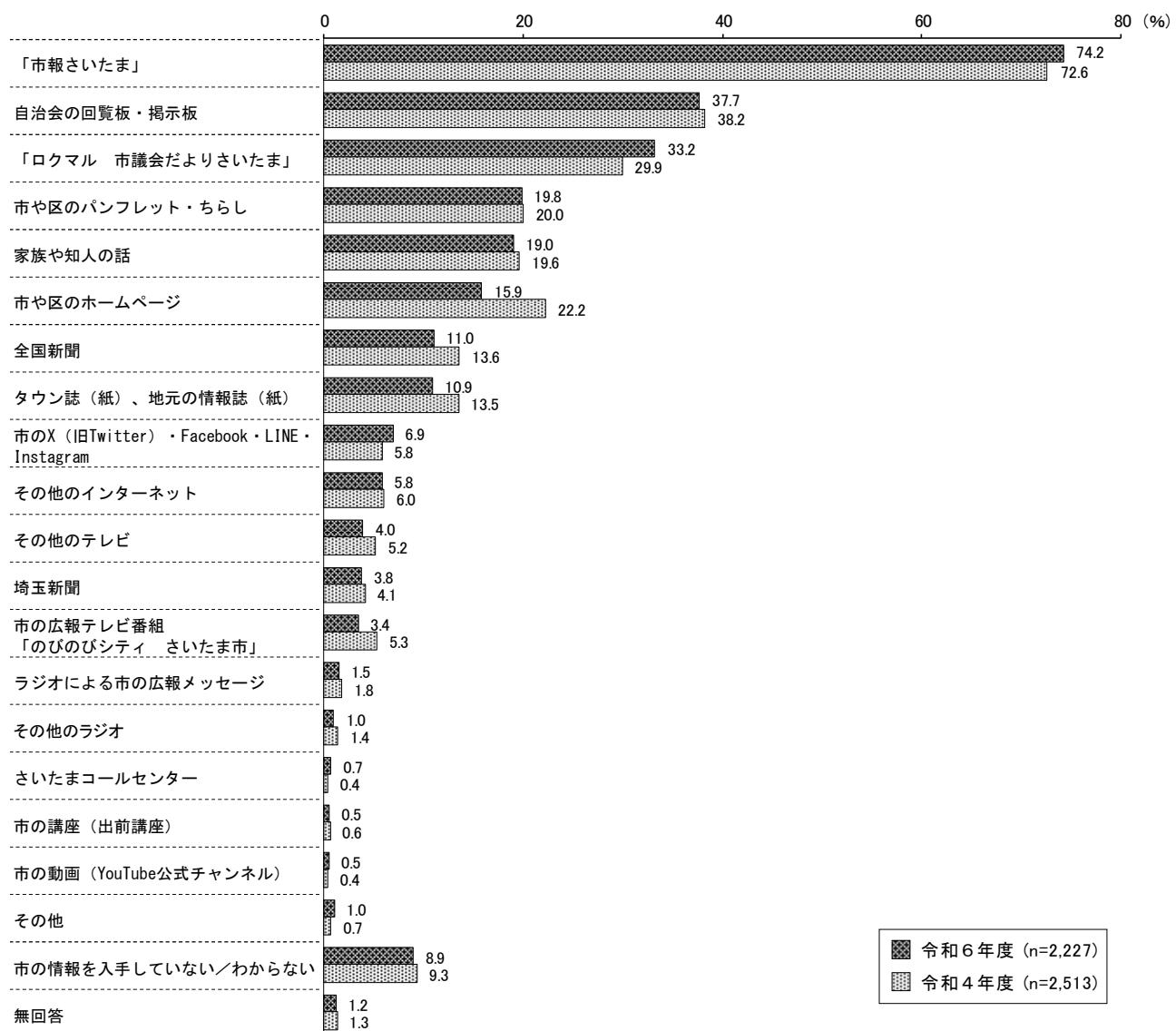
「岩槻の人形」が 76.9%で最も高く、「浦和のうなぎ」(76.5%)、「さいたまマラソン」(69.6%) が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「岩槻人形博物館」(45.5%) が 4.4 ポイント、「さいたま市民の日（5月1日）」(41.3%) が 3.5 ポイント増加した。

(3) 市政との関わり

問9 あなたは、さいたま市役所が発信する情報をどのように方法で入手していますか。

(〇はいくつでも)

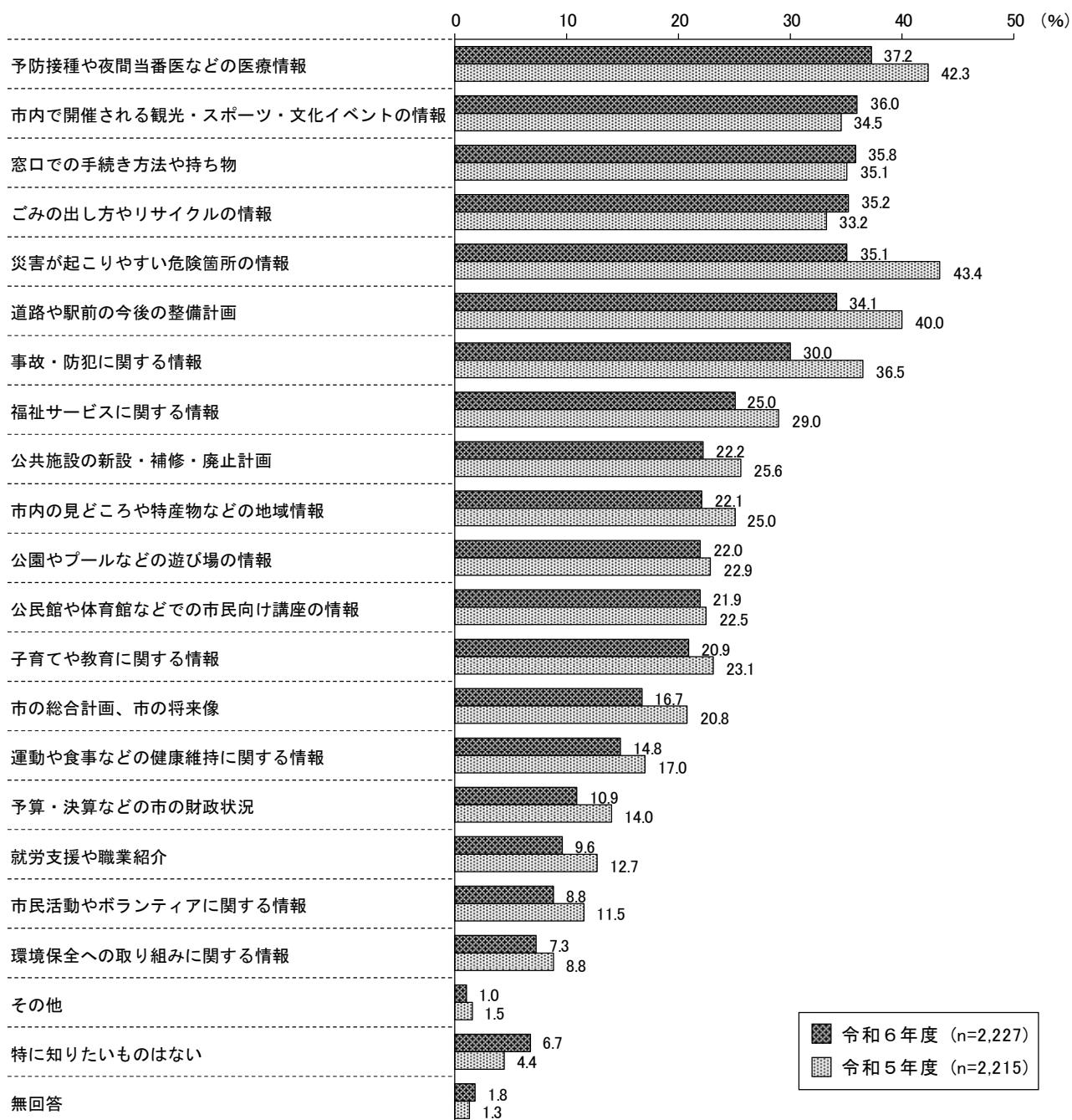


「市報さいたま」が 74.2% で最も高く、「自治会の回覧板・掲示板」(37.7%)、「ロクマル 市議会だよりさいたま」(33.2%) が続いた。

令和4年度の調査結果と比較すると、「市や区のホームページ」が 6.3 ポイント減少した。

問10 さいたま市役所からの情報で、あなたが特に知りたいのはどのような情報ですか。

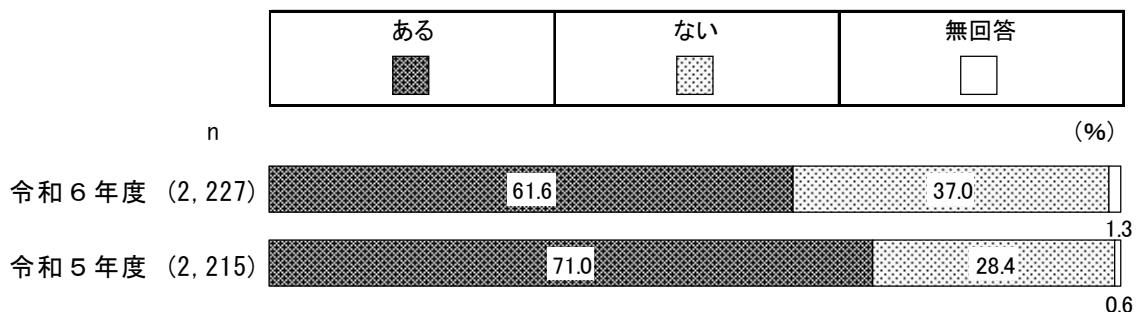
(〇はいくつでも)



「予防接種や夜間当番医などの医療情報」が 37.2% で最も高く、「市内で開催される観光・スポーツ・文化イベントの情報」(36.0%)、「窓口での手続き方法や持ち物」(35.8%) が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「災害が起こりやすい危険箇所の情報」(35.1%) が 8.3 ポイント、「事故・防犯に関する情報」(30.0%) が 6.5 ポイント、「道路や駅前の今後の整備計画」(34.1%) が 5.9 ポイント減少した。

問11 あなたは、この1年以内で、市・区役所を利用したり、電話で問い合わせをしたりしたことありますか。(○は1つ)

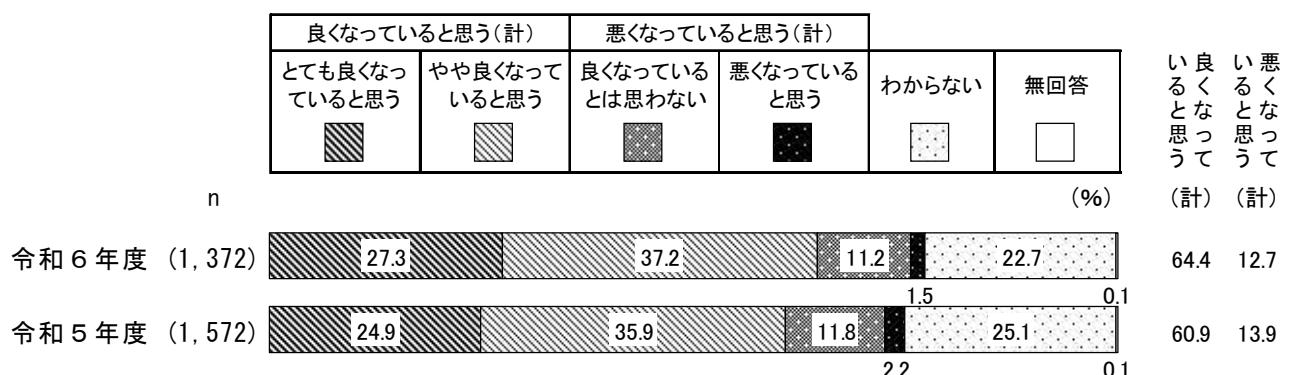


1年以内に利用・問い合わせ経験が「ある」は61.6%であった。

令和5年度の調査結果と比較すると、「ある」が9.4ポイント減少した。

(問11で「ある」と答えた方に)

問11-1 あなたは、最近の市職員のイメージをどう思いますか。(○は1つ)



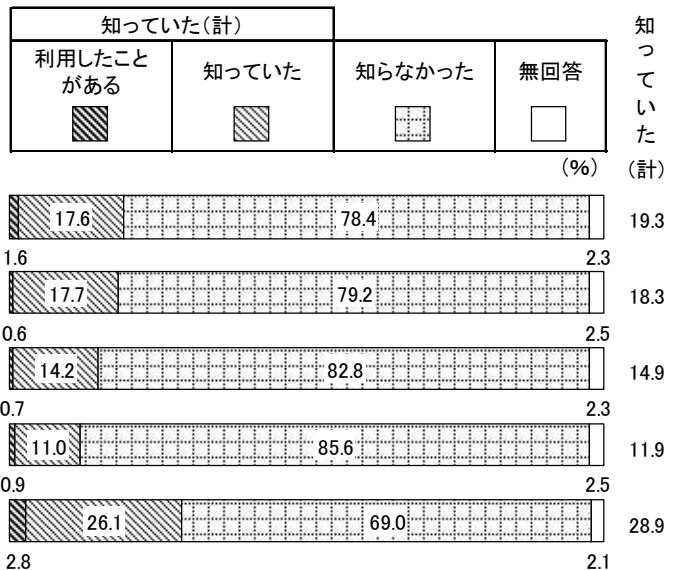
「とても良くなっていると思う」(27.3%)と「やや良くなっていると思う」(37.2%)を合わせた『良くなっていると思う(計)』(64.4%)は、6割半ばであった。一方、「良くなっているとは思わない」(11.2%)と「悪くなっていると思う」(1.5%)を合わせた『悪くなっていると思う(計)』(12.7%)は、1割を超えた。

令和5年度の調査結果と比較すると、『良くなっていると思う(計)』が3.5ポイント増加した。

問12 さいたま市では、広く市民の声を聴く事業を行っています。

(1) 以下の1~5の事業について、どの程度知っていましたか。(○はそれぞれ1つずつ)

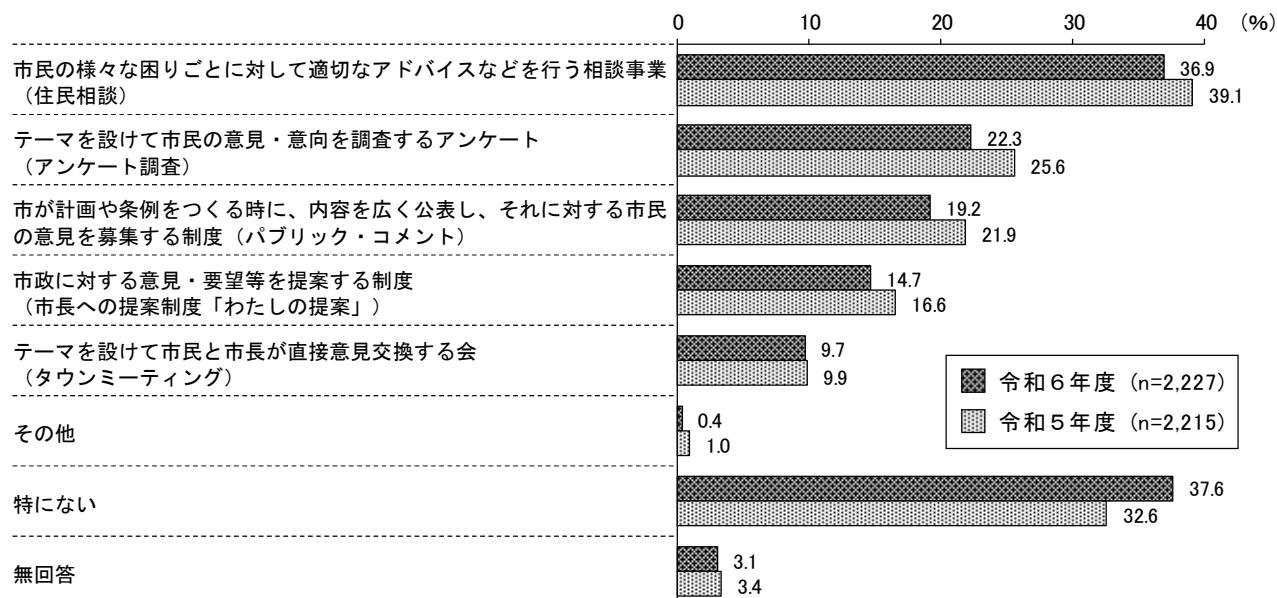
(n=2,227)



「利用したことがある」と「知っていた」を合わせた『知っていた(計)』は、「住民相談」が28.9%で最も高かった。

問12 さいたま市では、広く市民の声を聴く事業を行っています。

(2) 前問と同じ1~5の項目で、あなたが今後利用してみたい、あるいは、機会があれば協力してみたい事業に○をつけてください。(○はいくつでも)



「住民相談」が36.9%で最も高く、「アンケート調査」(22.3%)、「パブリック・コメント」(19.2%)が続いた。

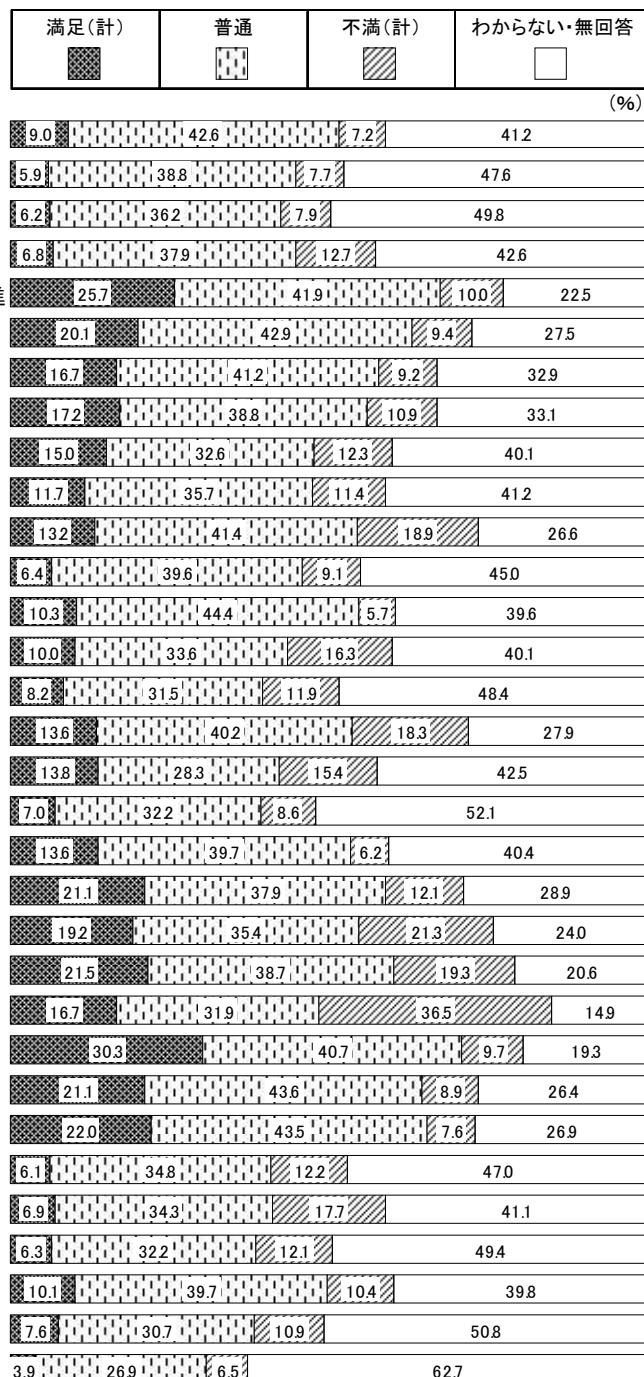
令和5年度の調査結果と比較すると、「特にない」(37.6%)が5.0ポイント増加した。

(4) 市政への満足度・重視度

問13 あなたは、以下の1~32の施策や事業について、どの程度満足していますか。

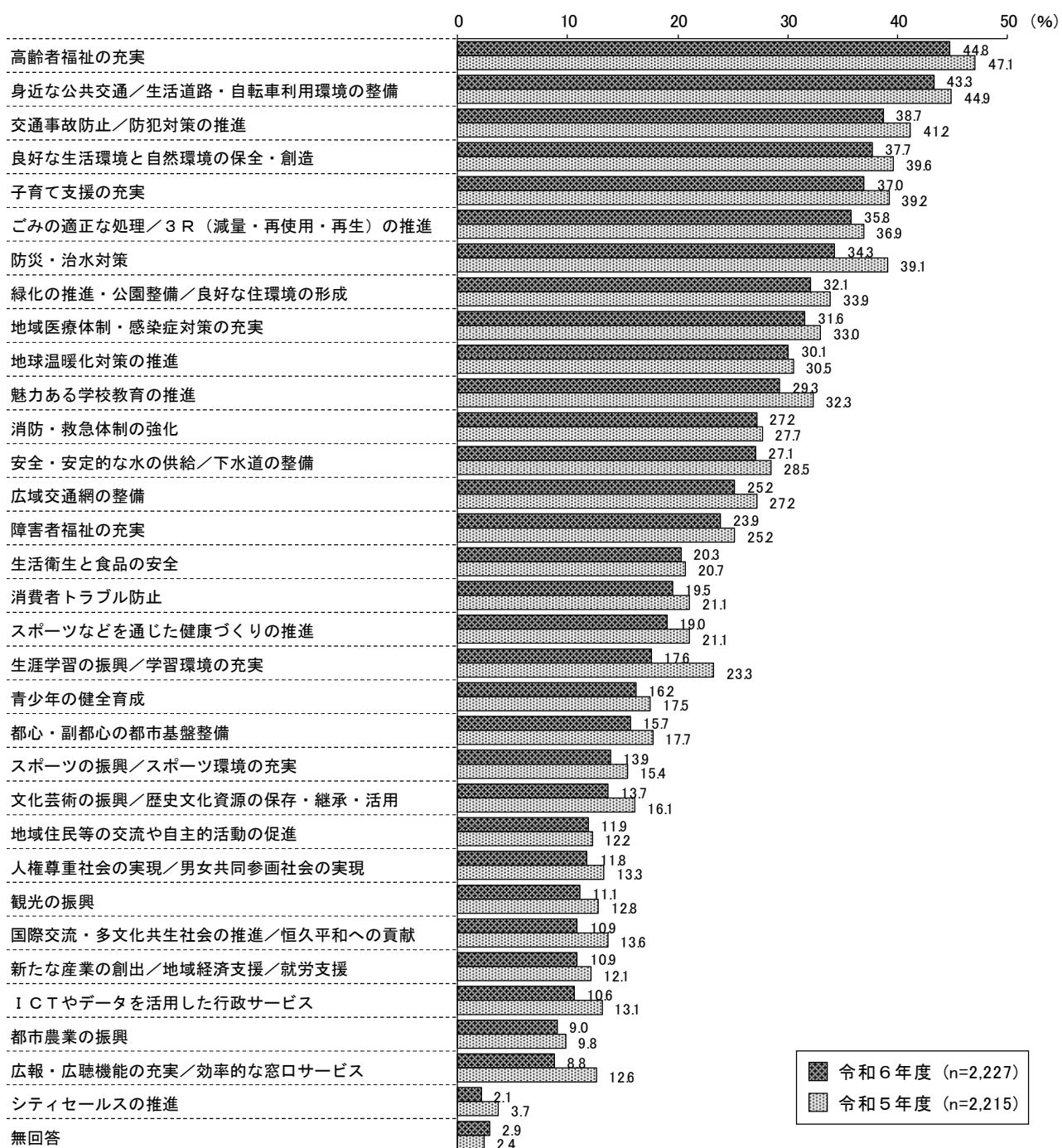
(○はそれぞれ1つずつ)

(n=2,227)



「満足」と「やや満足」を合わせた『満足(計)』は、「安全・安定的な水の供給／下水道の整備」が30.3%で最も高く、「ごみの適正な処理／3R（減量・再使用・再生）の推進」(25.7%)、「消防・救急体制の強化」(22.0%)が続いた。一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満(計)』は、「身近な公共交通／生活道路・自転車利用環境の整備」が36.5%で最も高く、「広域交通網の整備」(21.3%)、「緑化の推進・公園整備／良好な住環境の形成」(19.3%)が続いた。

問14 前問と同じ1～32の項目の中で、あなたが、今後力を入れて取り組んでほしいと思うものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

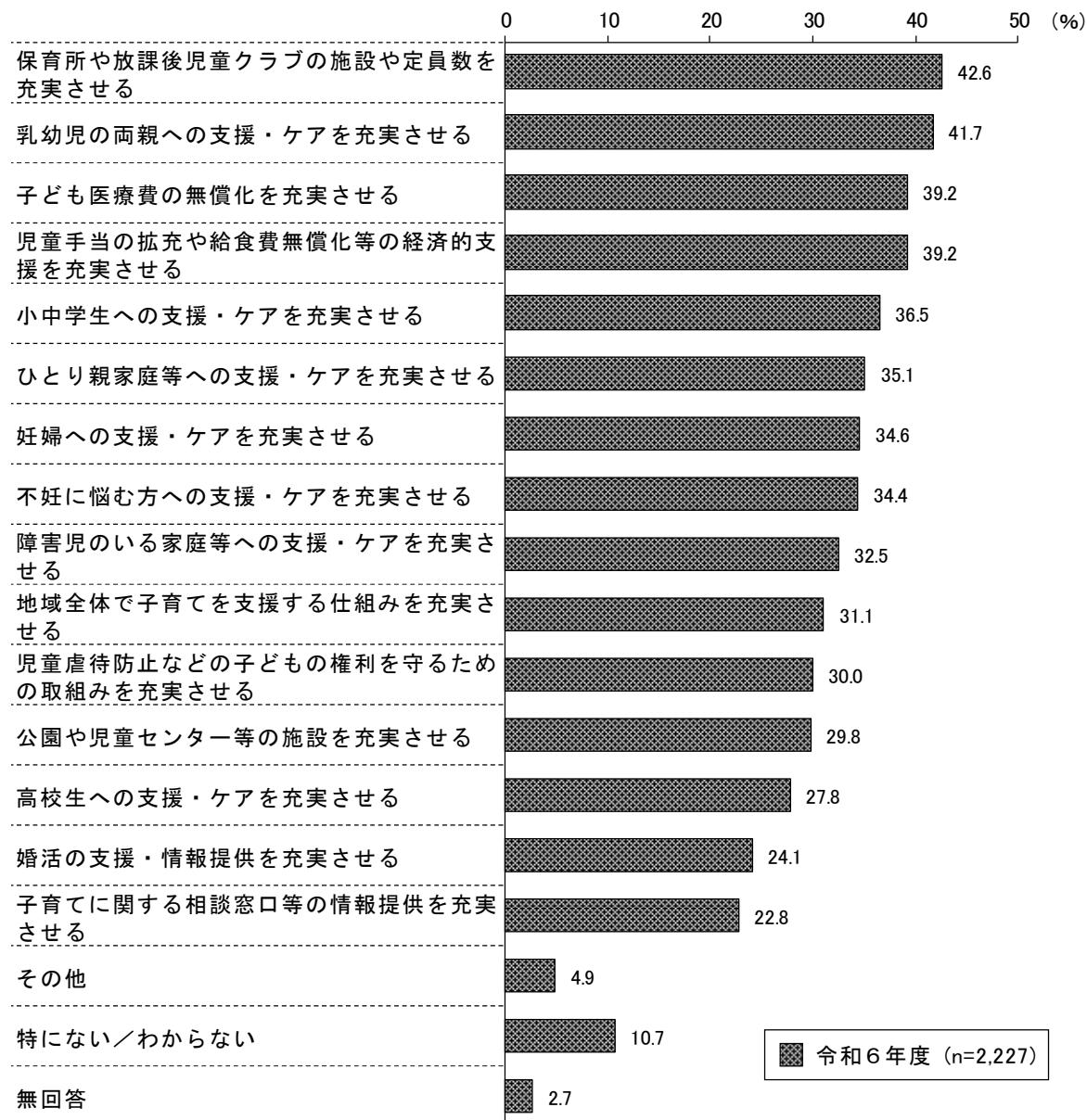


「高齢者福祉の充実」が 44.8%で最も高く、「身近な公共交通／生活道路・自転車利用環境の整備」(43.3%)、「交通事故防止／防犯対策の推進」(38.7%) が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「生涯学習の振興／学習環境の充実」(17.6%)が 5.7 ポイント、「防災・治水対策」(34.3%) が 4.8 ポイント減少した。

(5) 少子化対策・子育て支援

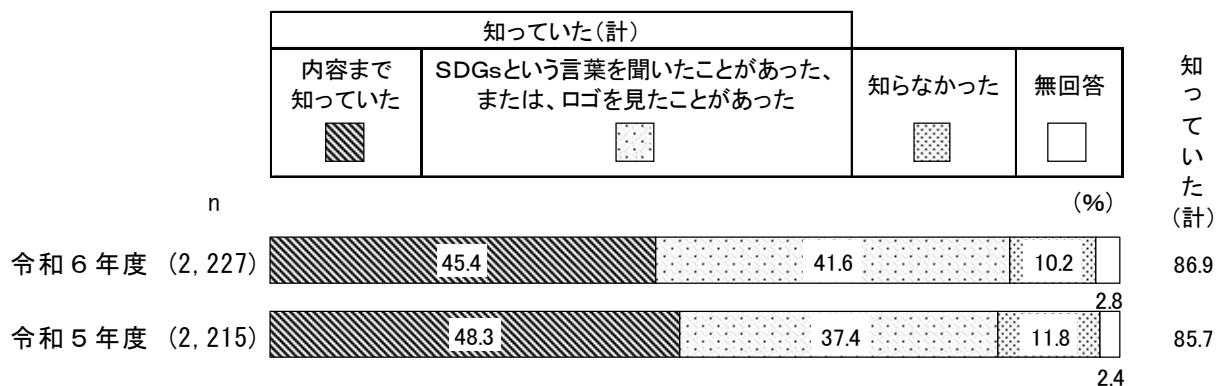
問15 「少子化対策・子育て支援」の施策を進めるにあたって、あなたが特に重視するとよいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)



「保育所や放課後児童クラブの施設や定員数を充実させる」が 42.6%で最も高く、「乳幼児の両親への支援・ケアを充実させる」(41.7%)、「子ども医療費の無償化を充実させる」、「児童手当の拡充や給食費無償化等の経済的支援を充実させる」(ともに 39.2%) が続いた。

(6) S D G s

問 16 あなたは、S D G sについてどの程度知っていましたか。(○は1つ)



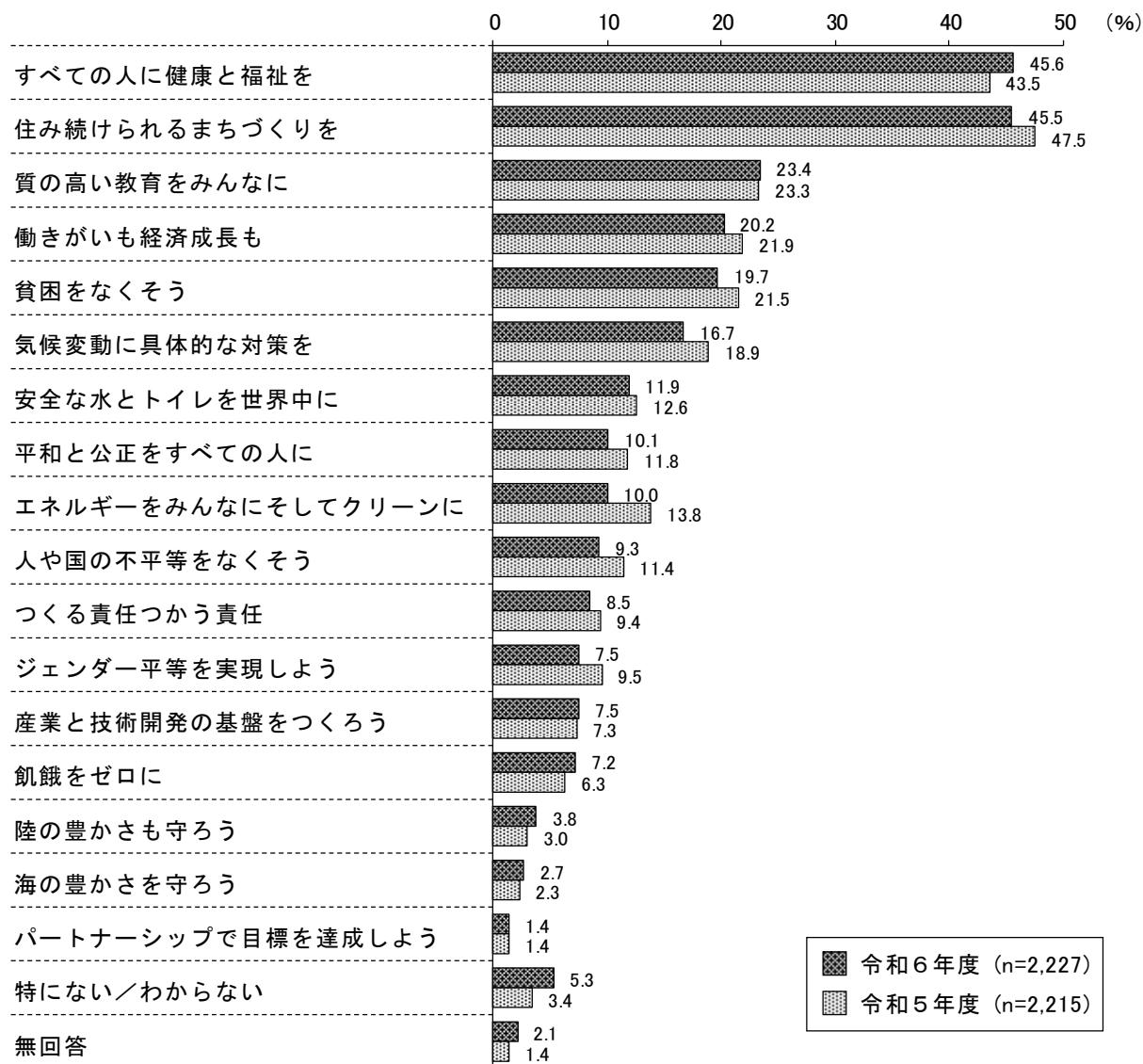
「内容まで知っていた」(45.4%) と 「S D G s という言葉を聞いたことがあった、または、ロゴを見たことがあった」(41.6%) を合わせた『知っていた (計)』(86.9%) は、9割近くであった。一方、「知らなかつた」(10.2%) は、1割であった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問17 SDGsは国際的な目標ですが、様々な地域で一人ひとりがその達成に向けて取り組んでいます。

今後、さいたま市が「持続可能な都市」となっていくために、どの目標の実現を重視するといよいと思いますか。以下のの中から、あてはまるものを3つまで選んでください。

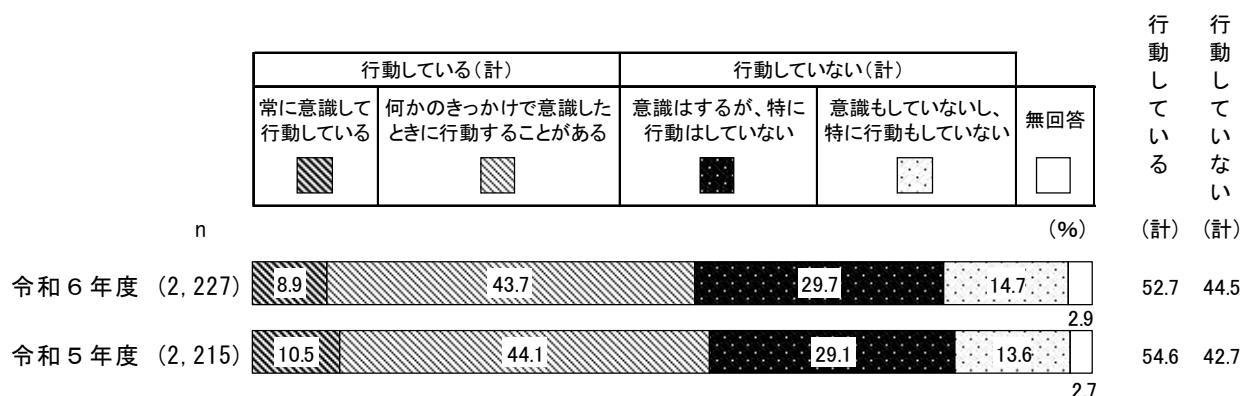
(○は3つまで)



「すべての人に健康と福祉を」が45.6%で最も高く、「住み続けられるまちづくりを」(45.5%)、「質の高い教育をみんなに」(23.4%)が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」が3.8ポイント減少した。

問18 あなたは、家庭や仕事などの日常生活において、SDGsの17の目標のうち、1つでも意識して行動をしていますか。(○は1つ)

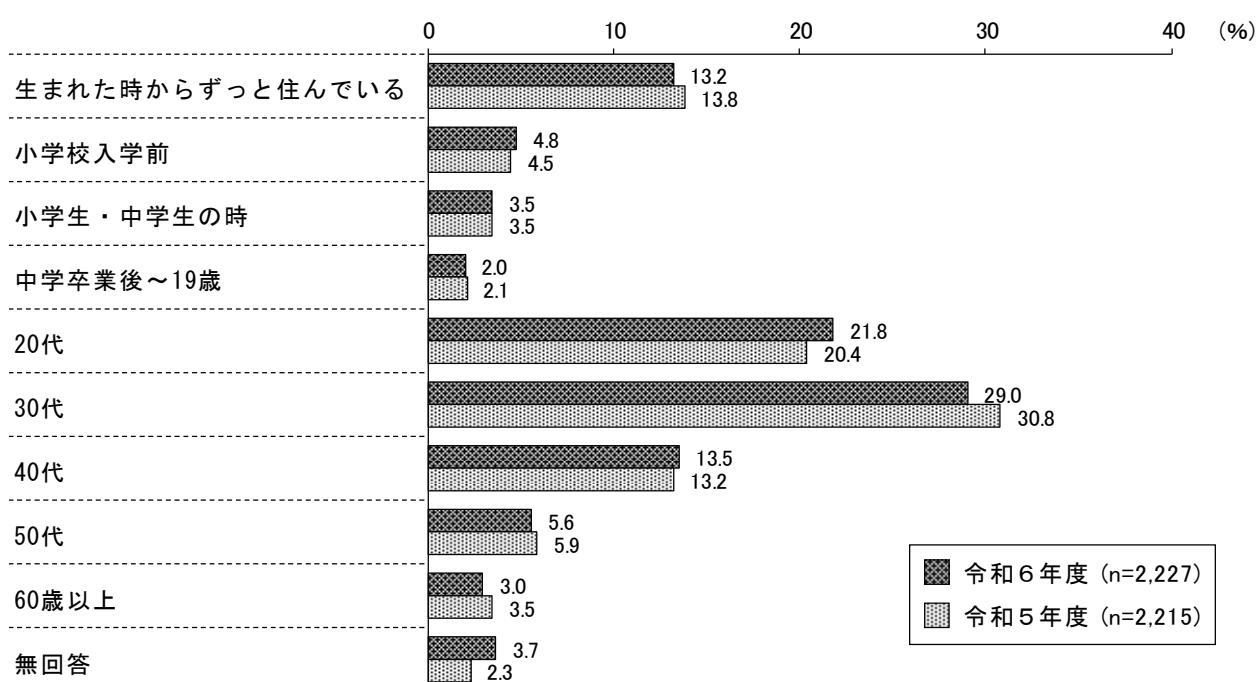


「常に意識して行動している」(8.9%)と「何かのきっかけで意識したときに行動することがある」(43.7%)を合わせた『行動している(計)』(52.7%)は、5割を超えた。一方、「意識はするが、特に行動はしていない」(29.7%)と「意識もしていないし、特に行動もしていない」(14.7%)を合わせた『行動していない(計)』(44.5%)は、4割半ばであった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

(7) 今の地域を選んだ理由

問19 今の地域に住み始めたのは、あなたがいくつの時ですか。(○は1つ)

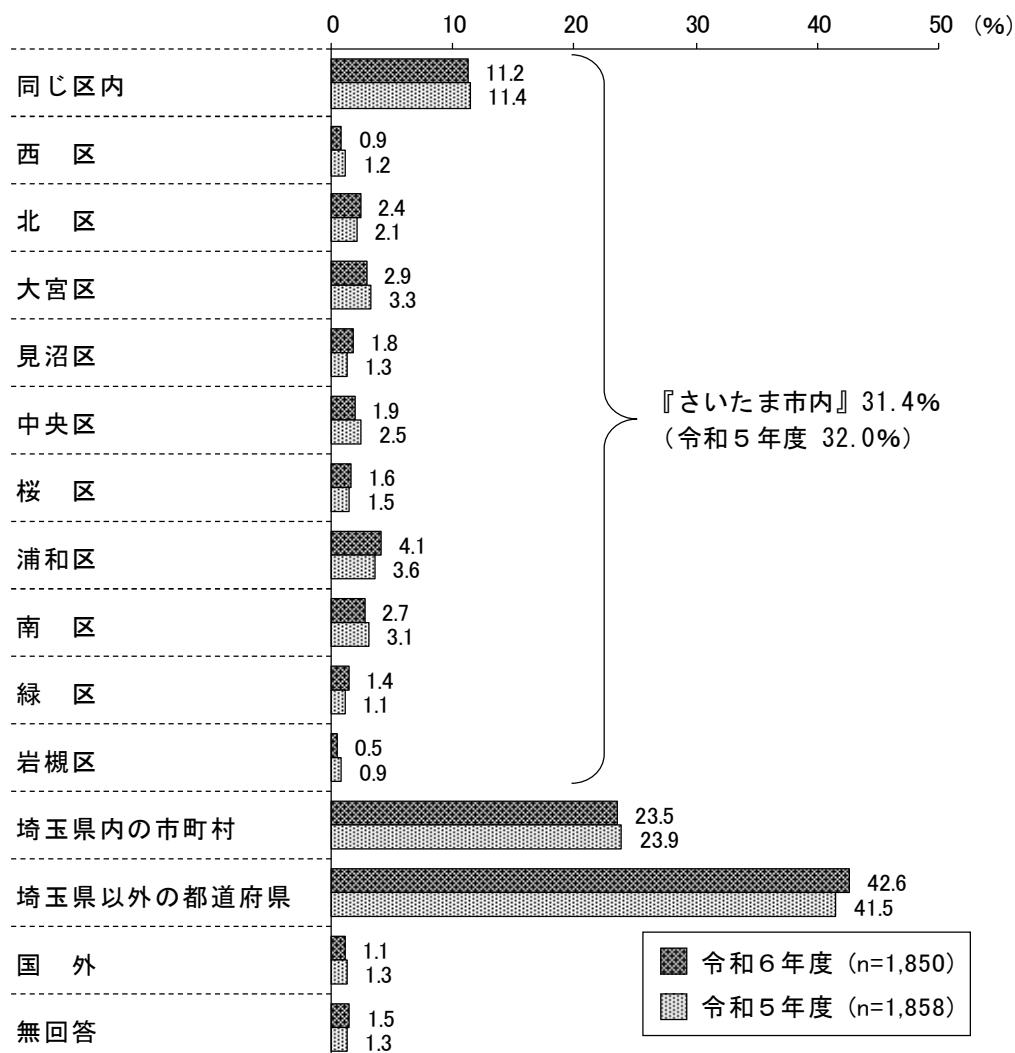


「30代」が29.0%で最も高く、「20代」(21.8%)、「40代」(13.5%)が続いた。全体の半数が20～30代に転入している。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

(引っ越してきた人に質問します。)

問 19-1 どこから、今の地域に引っ越してきましたか。同じ区内で転居した方は、現在お住まいの区を選んでください。(○は1つ)



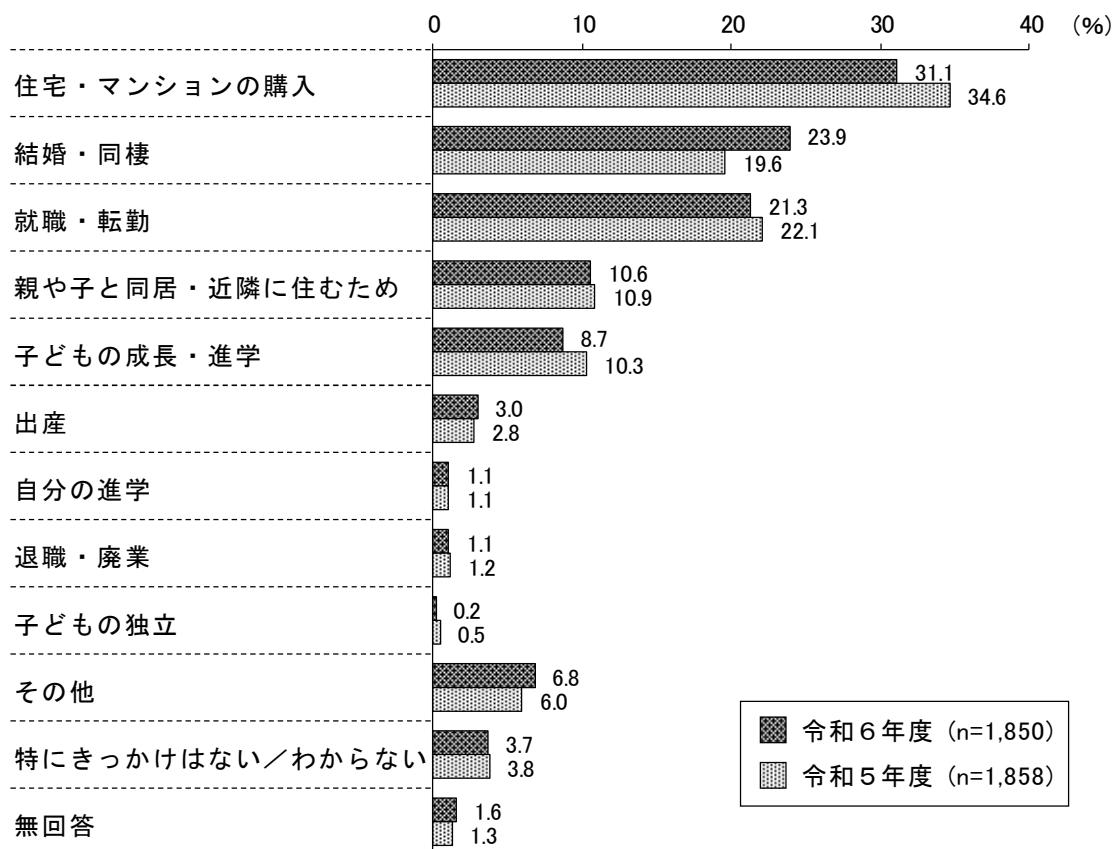
(注) この質問でさいたま市内の10区を答えた人の回答が、居住区(参照:報告書5ページ・(3)居住区)の回答と同じである人を「同じ区内」に区分して再集計した結果を示している。

『さいたま市内』の合計が31.4%で、「埼玉県内の市町村」は23.5%、「埼玉県以外の都道府県」は42.6%であった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

(引っ越してきた人に質問します。)

問 19-2 以前の地域から引っ越してきたきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

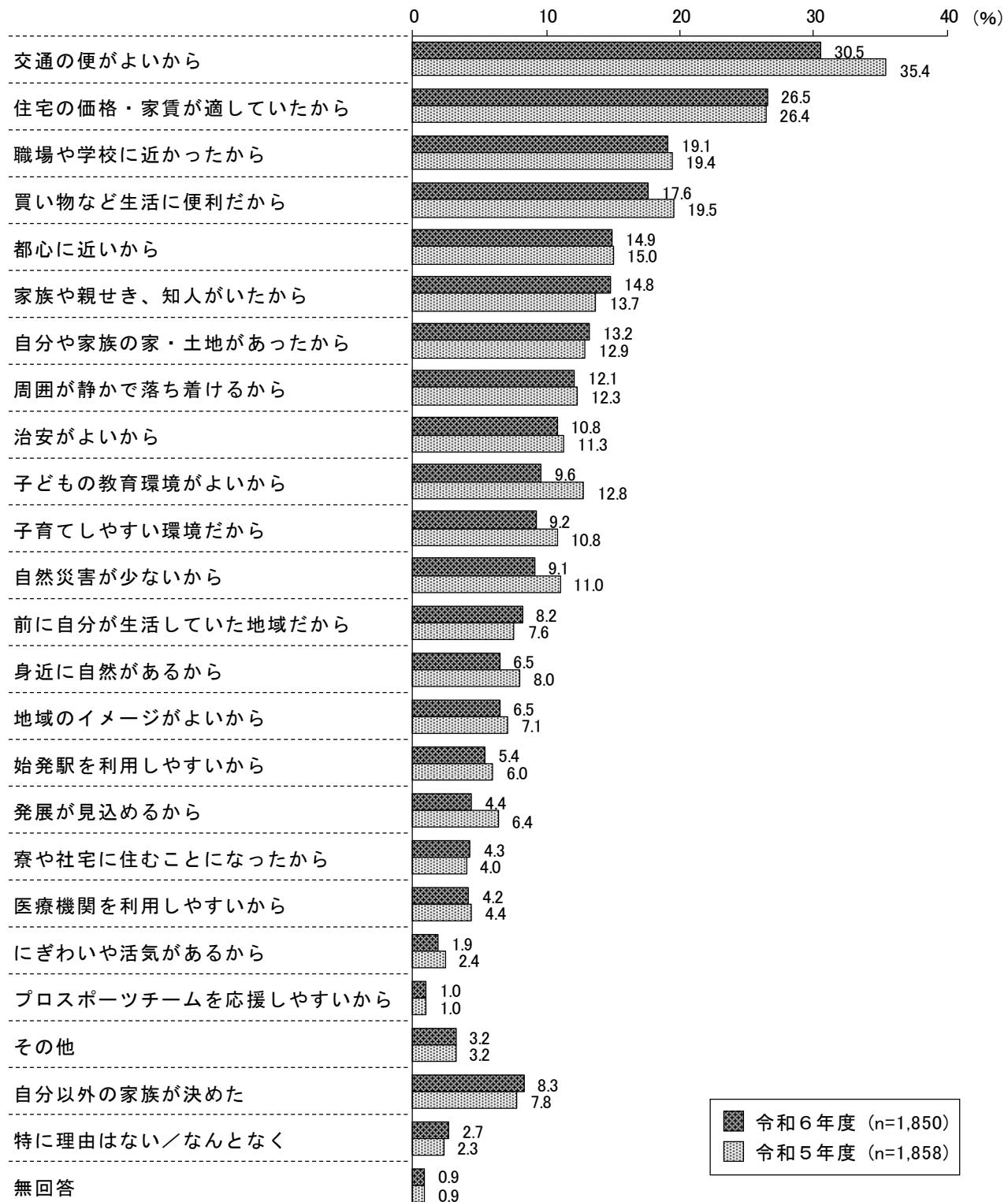


「住宅・マンションの購入」が 31.1% で最も高く、「結婚・同棲」(23.9%)、「就職・転勤」(21.3%) が続いた。

令和 5 年度の調査結果と比較すると、「結婚・同棲」が 4.3 ポイント増加した一方、「住宅・マンションの購入」が 3.5 ポイント減少した。

(引っ越してきた人に質問します。)

問 19-3 今の地域を選んだ大きな理由は何ですか。(○はいくつでも)



「交通の便がよいかから」が 30.5% で最も高く、「住宅の価格・家賃が適していたから」(26.5%)、「職場や学校に近かったから」(19.1%) が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「交通の便がよいかから」が 4.9 ポイント減少した。

III 在勤者意識調查

1 調査結果の要約

(1) さいたま市のイメージは、「買い物など生活に便利なまち」、「交通の利便性が高いまち」

さいたま市のイメージとして、「買い物など生活に便利なまち」が 56.3%で最も高く、「交通の利便性が高いまち」(50.4%)、「コンサートやイベントが多いまち」(36.3%) が続いた。

(参照：報告書 35 ページ・問 1 (1))

(2) 「岩槻の人形」の知名度が6割超え

さいたま市の施設、名所、文化財、伝統産業、イベントなどの知名度は、「岩槻の人形」が 61.4% で最も高く、「浦和のうなぎ」(55.9%)、「さいたまマラソン」(48.7%) が続いた。

(参照：報告書 37 ページ・問 2)

(3) 市の情報を入手する方法は「家族や知人の話」が2割半ば

市の情報を入手する方法としては、「家族や知人の話」が 24.9% で最も高く、「その他のインターネット」(18.9%)、「その他のテレビ」(13.9%) が続いた。(参照：報告書 38 ページ・問 3)

(4) 住みやすいまちの条件は「電車の便がよい」、「治安がよい」が多い

住みやすいまちの条件としては、「電車の便がよい」が 74.4% で最も高く、「治安がよい」(73.7%) が 7 割台で続いた。また、さいたま市が住みやすいまちだと思うか聞いたところ、「そう思う」は 40.0% であった。(参照：報告書 39~40 ページ・問 4 (1)、問 4 (2))

(5) さいたま市内に立ち寄る目的は「買い物」と「飲食」

仕事のあと、月 1 回以上さいたま市内に立ち寄る人は 62.4% であり、立ち寄る目的は「買い物」(72.5%) と「飲食」(60.9%) が特に高かった。(参照：報告書 40~41 ページ・問 5、問 5-1)

(6) 買い物や遊びで、さいたま市に来てみたい人はほぼ 7 割

仕事が休みの日に、買い物や遊びで、さいたま市に来てみたいと思う人は 69.3% であった。

(参照：報告書 41 ページ・問 6)

2 回答者の属性

(1) 性別

属性	回答者数	比率
男性	432	60.8%
女性	254	35.8
選べない・答えたくない	13	1.8
無回答	11	1.5
全 体	710	100.0

(2) 年代

属性	回答者数	比率
18~19歳	3	0.4%
20代	68	9.6
30代	144	20.3
40代	193	27.2
50代	215	30.3
60代	61	8.6
70歳以上	12	1.7
無回答	14	2.0
全 体	710	100.0

(3) 居住地域

属性	回答者数	比率
近隣市北部	128	18.0%
近隣市南部	72	10.1
埼玉県西部及び秩父地域	101	14.2
埼玉県東部地域	180	25.4
埼玉県北部地域	21	3.0
東京都23区	76	10.7
その他の東京都	29	4.1
千葉県	38	5.4
神奈川県	12	1.7
その他	41	5.8
無回答	12	1.7
全 体	710	100.0

(4) 在勤区

属性	回答者数	比率
西 区	26	3.7%
北 区	98	13.8
大宮区	102	14.4
見沼区	61	8.6
中央区	63	8.9
桜 区	46	6.5
浦和区	119	16.8
南 区	34	4.8
緑 区	55	7.7
岩槻区	94	13.2
無回答	12	1.7
全 体	710	100.0

(5) さいたま市内での在勤年数

(合併前も含む)

属性	回答者数	比率
1年未満	52	7.3%
1~3年未満	90	12.7
3~5年未満	120	16.9
5~10年未満	103	14.5
10~20年未満	188	26.5
20年以上	144	20.3
無回答	13	1.8
全 体	710	100.0

(6) 通勤時間

属性	回答者数	比率
30分未満	113	15.9%
30分~1時間未満	234	33.0
1時間~1時間半未満	233	32.8
1時間半~2時間未満	97	13.7
2時間以上	20	2.8
無回答	13	1.8
全 体	710	100.0

(7) 通勤手段

属性	回答者数	比率
電車	419	59.0%
路線バス	7	1.0
送迎バス	0	0.0
自家用車	218	30.7
バイク	7	1.0
自転車	37	5.2
徒歩	6	0.8
その他	4	0.6
無回答	12	1.7
全 体	710	100.0

(8) 家族構成

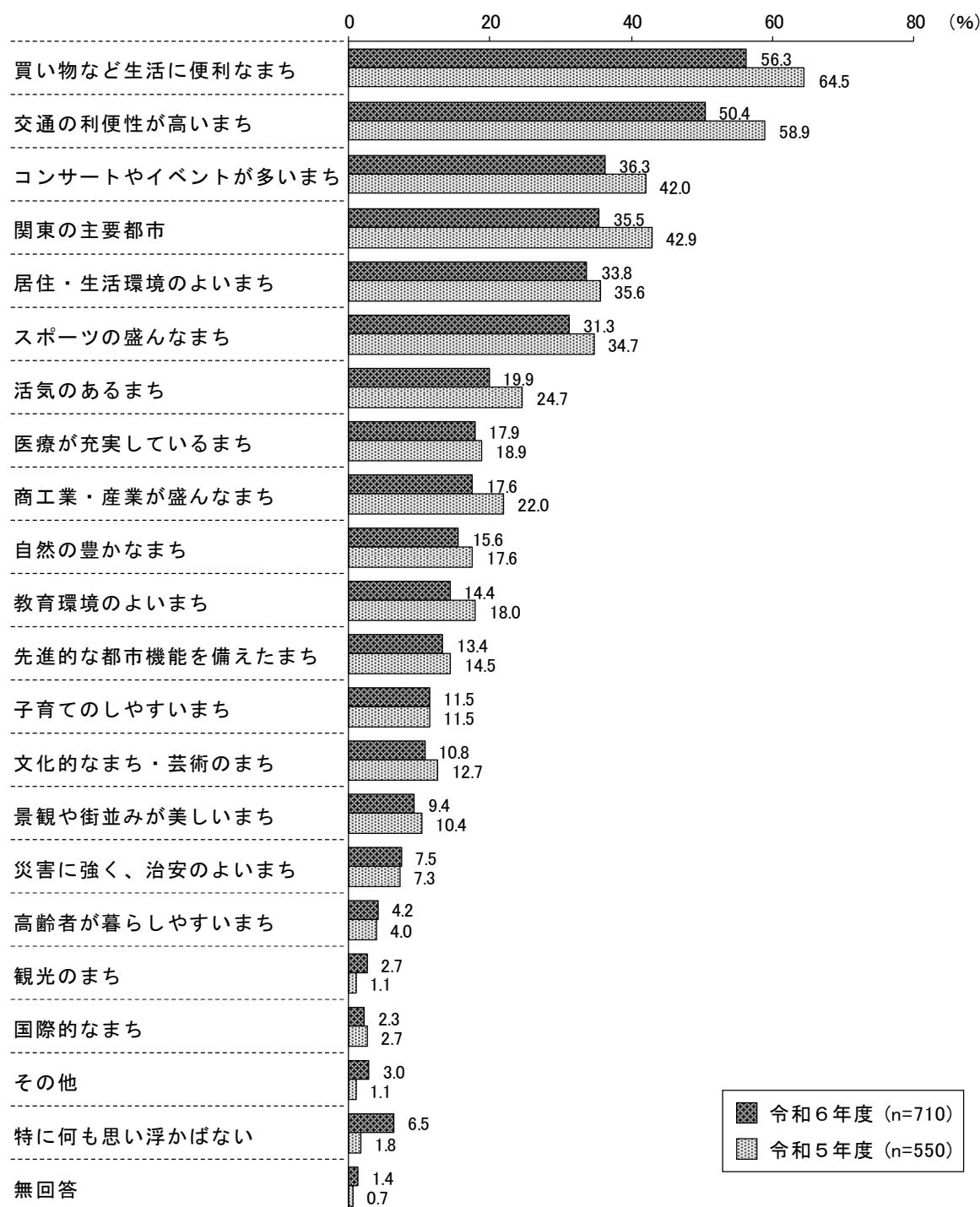
属性	回答者数	比率
一人暮らし	105	14.8%
夫婦だけ	142	20.0
親子（2世代）	391	55.1
親と子と孫（3世代）	44	6.2
その他	14	2.0
無回答	14	2.0
全 体	710	100.0

3 調査の結果

(1) さいたま市のイメージ

問1 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

(1) あなたは、「さいたま市」にどのようなイメージを持っていますか。(○はいくつでも)

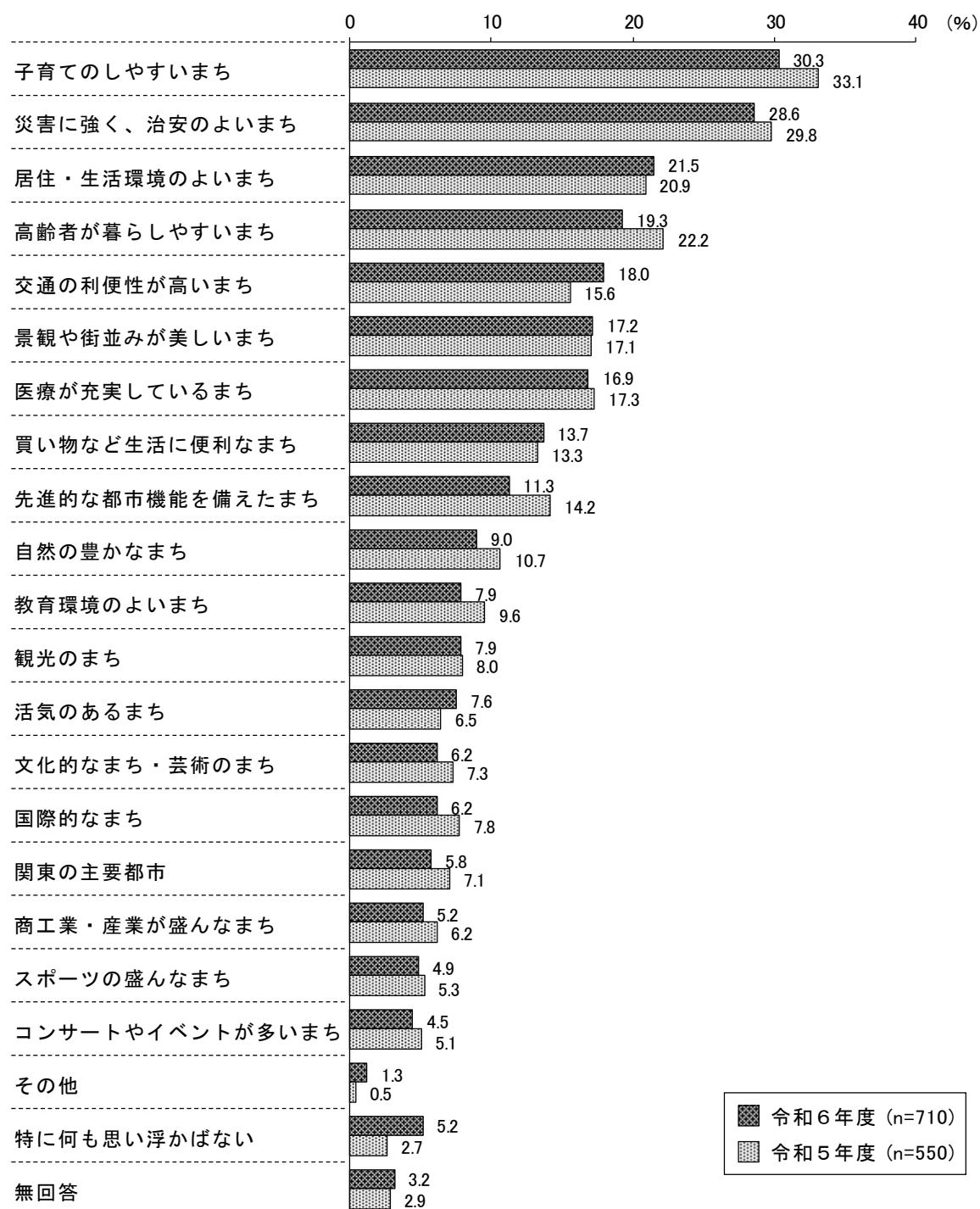


「買い物など生活に便利なまち」が 56.3%で最も高く、「交通の利便性が高いまち」(50.4%)、「コンサートやイベントが多いまち」(36.3%) が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「交通の利便性が高いまち」が 8.5 ポイント、「買い物など生活に便利なまち」が 8.2 ポイント、「関東の主要都市」(35.5%) が 7.4 ポイント減少した。

問1 現在の「さいたま市」のイメージと今後の発展の方向について質問します。

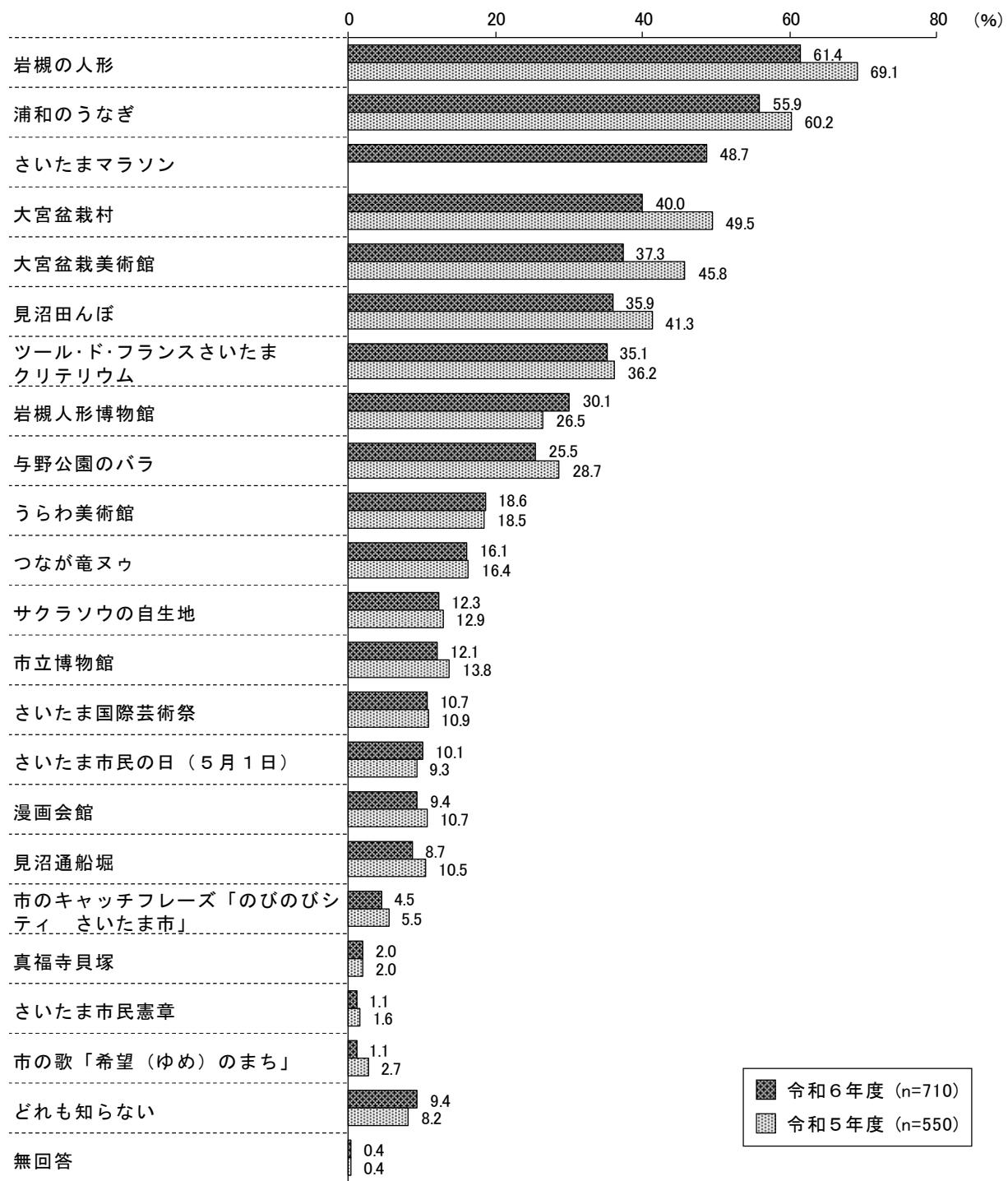
(2) あなたは、「さいたま市」が今後いっそう魅力的な都市になるためには、将来どのような方向へ発展するとよいと思いますか。(○は3つまで)



「子育てのしやすいまち」が30.3%で最も高く、「災害に強く、治安のよいまち」(28.6%)、「居住・生活環境のよいまち」(21.5%)が続いた。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

問2 さいたま市の施設、名所、文化財、伝統産業、イベントなどについて、あなたが知っているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



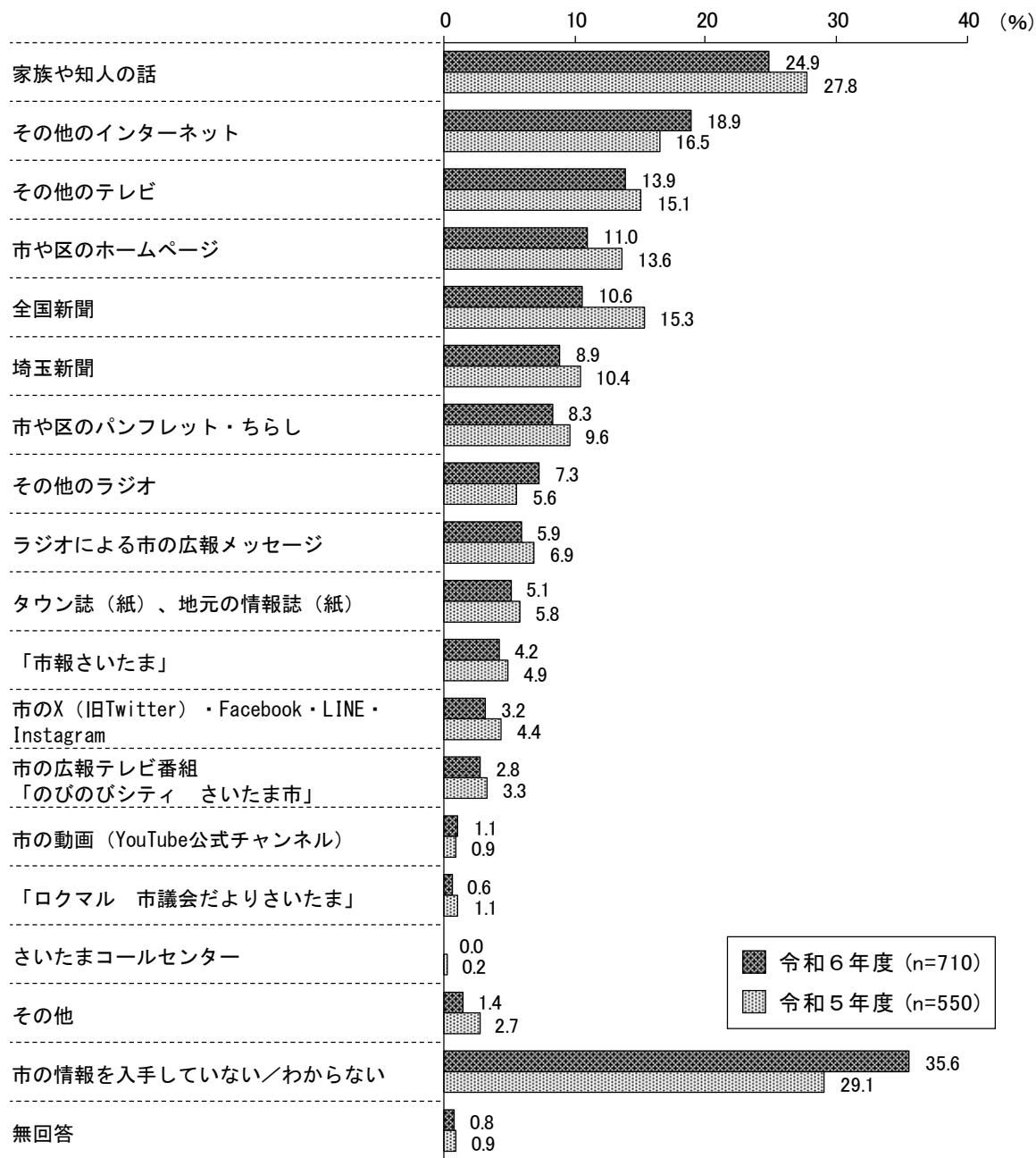
(注記) 「さいたまマラソン」は、令和6年度調査から選択肢に加えた。

「岩槻の人形」が 61.4%で最も高く、「浦和のうなぎ」(55.9%)、「さいたまマラソン」(48.7%) が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「大宮盆栽村」(40.0%) が 9.5 ポイント、「大宮盆栽美術館」(37.3%) が 8.5 ポイント、「岩槻の人形」が 7.7 ポイント減少した。

問3 あなたは、さいたま市が発信する情報をどのような方法で入手していますか。

(○はいくつでも)



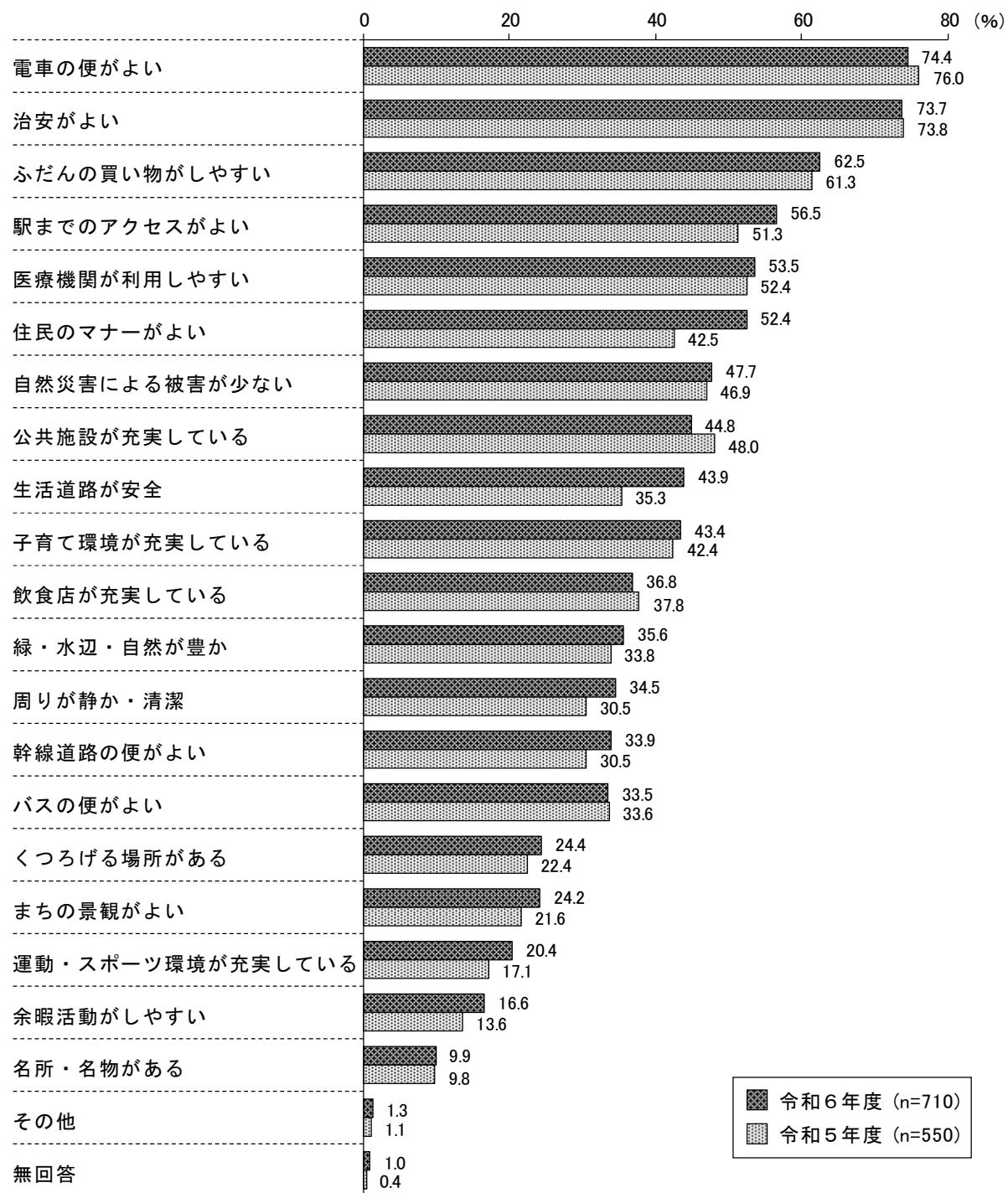
「家族や知人の話」が 24.9% で最も高く、「その他のインターネット」(18.9%)、「その他のテレビ」(13.9%)、「市や区のホームページ」(11.0%) が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「全国新聞」(10.6%) が 4.7 ポイント減少した。一方、「市の情報を入手していない／わからない」が 6.5 ポイント増加した。

問4 住みやすいまちの条件と、それに対するさいたま市の評価について質問します。

(1) あなたにとって、「住みやすいまち」とは、どのようなまちですか。

以下のの中から、あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

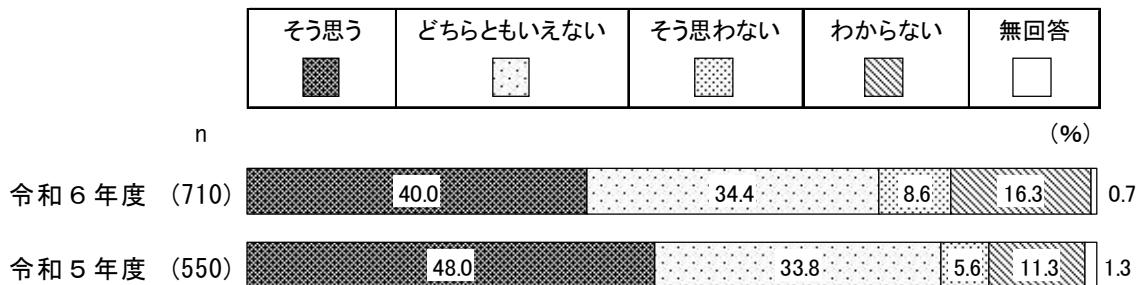


「電車の便がよい」が 74.4%で最も高く、「治安がよい」(73.7%)、「ふだんの買い物がしやすい」(62.5%) が続いた。

令和5年度の調査結果と比較すると、「住民のマナーがよい」(52.4%) が 9.9 ポイント、「生活道路が安全」(43.9%) が 8.6 ポイント、「駅までのアクセスがよい」(56.5%) が 5.2 ポイント増加した。

問4 住みやすいまちの条件と、それに対するさいたま市の評価について質問します。

(2) あなたは、さいたま市は「住みやすいまち」だと思いますか。(○は1つ)

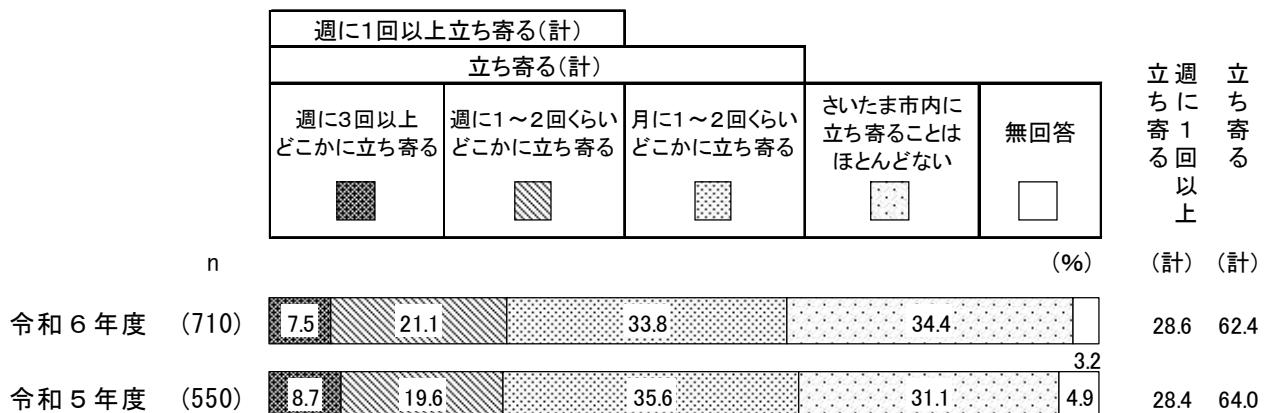


「そう思う」が40.0%で、「そう思わない」(8.6%)を上回った。

令和5年度の調査結果と比較すると、「そう思う」が8.0ポイント減少した。

(2) 市内での活動

問5 あなたは、お仕事が終わったあと、食事や買い物などでさいたま市内のどこかに立ち寄ることがありますか。(○は1つ)

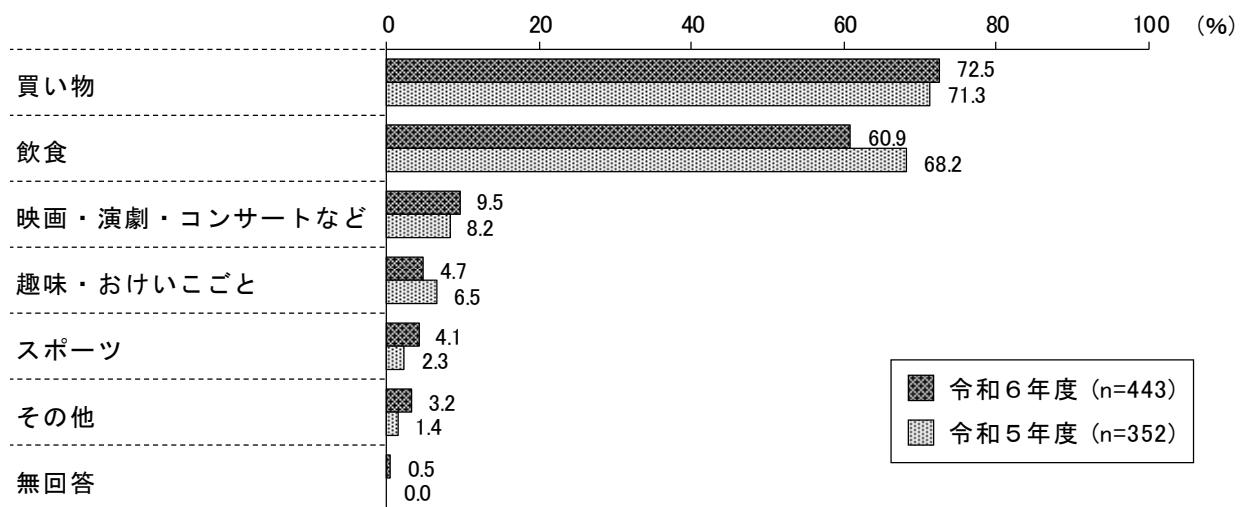


「週に3回以上どこかに立ち寄る」(7.5%)と「週に1～2回くらいどこかに立ち寄る」(21.1%)を合わせた『週に1回以上立ち寄る(計)』は、28.6%であった。さらに「月に1～2回くらいどこかに立ち寄る」(33.8%)を合わせた『立ち寄る(計)』は、62.4%であった。

令和5年度の調査結果と、おおむね同じであった。

(問5で「週に3回以上どこかに立ち寄る」「週に1～2回くらいどこかに立ち寄る」「月に1～2回くらいどこかに立ち寄る」と答えた方に)

問5－1 どのような目的で市内に立ち寄りますか。(○はいくつでも)

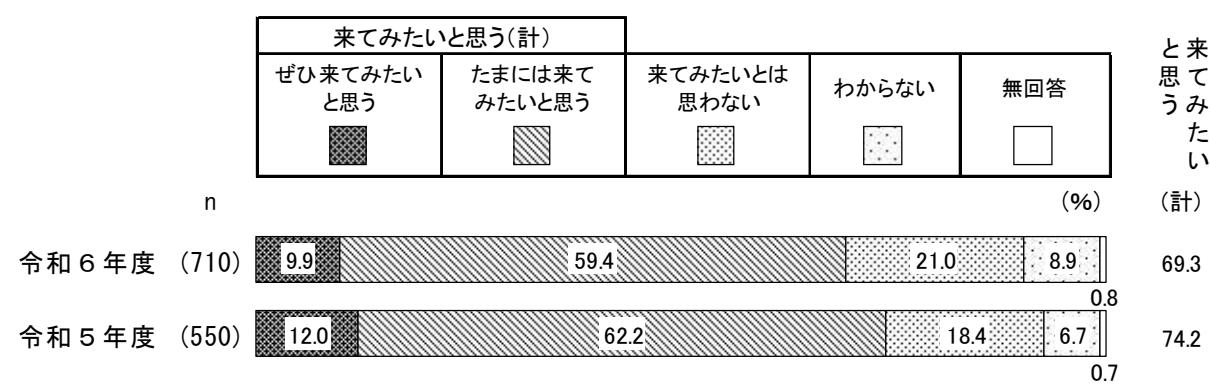


「買い物」(72.5%) と「飲食」(60.9%) が高かった。

令和5年度の調査結果と比較すると、「飲食」が7.3ポイント減少した。

問6 あなたは、仕事が休みの日に、買い物や遊びで、さいたま市に来てみたいと思いますか。

(○は1つ)



「ぜひ来てみたいと思う」(9.9%) と「たまには来てみたいと思う」(59.4%) を合わせた『来てみたいと思う (計)』は、69.3%であった。

令和5年度の調査結果と比較すると、『来てみたいと思う (計)』が4.9ポイント減少した。

[このさいたま市民意識調査業務の委託に要する経費は、230万円です。]